英語ができる人は実はただの凡人だったんです・・・

挫折ばかりしてきた凡人でも
英語が劇的に上達できた最強の法則

これで英語に無駄な努力とお金を使うことがなくなります

- ☑英会話をしないことが英語を話せる
- ☑ネイティヴと話すこと＝上達ではないのは？
- ☑読み書きが英語では最強な理由
- ☑音から英語を学んではいけない理由
- ☑ラクで簡単な勉強法はほとんど挫折する根拠
- ☑勉強を苦痛になり、挫折するスパイラルとは？

英語マスター請負人　佐藤俊介　http://www.eigo-topgun.net/

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

はじめに

こんにちは。
英語マスター請負人の佐藤と申します

極秘レポートのダウンロードありがとうございました。
このレポートは長いですが、
英語をマスターできる考え方や英語習得の本質が見えてくると思います。

少しだけ私のことを紹介させてください。

大学時代英文科に所属するもなかなか英語がうまくならず苦労しました。

ところがあるとき英語習得の文献に出会い、それを読みあさったところ
英語の勉強にコツがあることに気がつきました。

「なんだこれって英語は才能なんて関係ないってことじゃん」

これを知ってからというもの英語の本が読めるようになり、
しゃべりもスイスイうまくなりました。

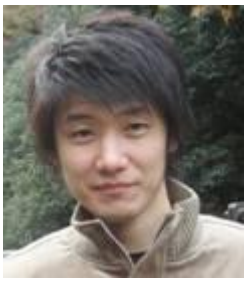
結局理にかなった方法を取っているかどうかだけだったのです。
それをあなたと共有したくてこのレポートを作成しました。

無料ですが、たくさん役に立てることをお話しました。

ぜひしっかり読んで英語マスターへの道を開いてください。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

著者プロフィール



英語マスター請負人佐藤俊介の経歴

福岡大学人文学部英語学科卒業

大学時代に言語学とスピーチコミュニケーションをはじめ、
英語に関する言語習得と異文化適応の研究を学ぶ。

特に英語をどのように習得していくかという知識を
大学時代に学び、研究データや研究書などからリサーチをし、
英語勉強法の原型をほぼ完成させる。

英語の基礎力をしっかり磨くことに専念。

大学卒業後、ワーキングホリデーでオーストラリアへ

英語の武者修行と題して、自腹で貯めた資金でオーストラリアへ。

自らが考え出した英語勉強法を実践し、
実践した内容を検証し、大幅にレベルアップを果たす。

渡豪州より１年後、目的を果たし帰国。

その後受けたＴＯＥＩＣで 840 点を取得。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

帰国後は地元長崎で仕事の傍ら英語のレッスンに学習アドバイザーとして参加

帰国後、仕事の傍ら南アフリカ人のネイティヴスピーカーと
プライベートレッスンを行う。

英語の学習法を個人および、グループレッスンにて、
指導を行う。

某大手家電メーカーで電気機器の取扱説明書の翻訳業務担当

大手家電メーカーにて取扱説明書の翻訳業務を約 1 年間行う。

毎日終電までの日々が続くことも。

この仕事では体が持たないこと、
担当していた電気機器の営業方針に未来はないと悟る。

次の自分の仕事新しい英語の活用法を発見し、
次の仕事へ準備する。

その後、ＩＴ企業へ入社。

ＩＴ企業へ入社後、通販サイト運営業務

翻訳とは全く畑違いの仕事を行うが、
それも英語で仕入れたノウハウを活用するようになる。

月商わずか 20 万のサイトが約 1000 万まで上昇。

約 1 年後、通販業務の傍ら、学んだノウハウを元に独立。

自作の英語勉強法教材販売とコンサルティング業務を開始。

自作の英語勉強法教材販売とコンサルティング業務で独立

独立後現在に至る。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

英語勉強法の教材は延べ８００人を超える販売実績を持つ。
勉強法の教材だけではなく、個別で対応をオンラインできめ細かいサポートを行い、多くの英語学習者のレベルアップに貢献。

さまざまな英語学習の教材に目を通しつつ、
言語学、脳科学、心理学などのさまざまな科学的な英語学習法を多くの人に伝える日々を送る。

勉強法のみではなく、自らが会社員をわずか２年で卒業できた英語のパワーを
多くの人に伝えることをモットーとしている。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

著作権について

あなたは、このレポートの無料配布権を持っています。
このレポートは友達や知り合いなどに自由に配布していただいてかまいません。

どのように使っていただいて結構です。

ただしレポートの内容は編集しないでください。

あるいは、このレポートを配布してコミッションを得ることができます。
詳しくはこちらをクリックしてください。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

目次

内容

■ はじめに 2

■ 著者プロフィール 3

■ 著作権について 6

■ 目次 7

■ 第１章　「英会話」をするから英語が話せない 11

私たちは英会話なんてしたことがない（あるネイティヴスピーカーの告白） ..12

日本人は英語の読み書きだけなら本当にできるか？ 17

なぜ読み書きができないと会話ができないのか？ 21

英会話のバカ高い受講料 24

英会話教材にインチキ情報が多い理由 26

英語ができるようになるために必要なことって？ 30

読み書きを重視しなければならない秘密とは？ 33

- 理由その１　「読み書きができないと自分の力であたらしいものを吸収できない」 33
- 理由その２　「読み書きができないと正しい英語を使っているかどうか客観的に自分で判断がつかない 」 34
- 理由その３「英語を使うことがある環境に身を置く以上読み書きをしなければいけないことが多い」 36

読み書きのために必要な文法 38

どうして英語が出てこないのだろう？ 42

英語が出てくるようになるためにはどんな練習が必要？ 45

英単語の丸暗記が役に立たない理由 47

英語は才能がないとできない？ 49

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

初心者が資格の勉強をしてはいけない理由.....52
英語は間違いを気にせずどんどんしゃべればうまくなるのウソ.....53
■ **第２章　効果の高い英語勉強法をするには？ 55**
英語を勉強するときの知っておくべき３つの鉄則～その１ 55
英語を勉強するときの知っておくべき３つの鉄則～その２ 55
英語を勉強するときの知っておくべき３つの鉄則～その３.....57
英語をやる人が絶対に振り回されてはいけない迷信集.....59
英語に合わせて自分の行動を選択する.....60
１００人いたら１００通りの勉強法があるのか？ 61
なぜ会話のレッスンや授業をしても話せないのか?.....64
具体的な勉強方法を知る前に、知っておくべき大切なこと.....66
英語の勉強法の究極の目的を知る.....67
英語の勉強へのこんな誤解した認識.....68
机に向かう勉強って意味ない？.....69
留学での勉強法と日本にいての勉強法は違う？.....70
日本人が英語をできないのは恥ずかしがり屋だから？ 71
凡人が早く英語がしゃべれるようになるためには・・・ 74
英語がペラペラになるならネイティヴスピーカーと話をしなければならない？
.....76
英語回路を作るまでに大切なこととは？ 77
留学する前に知っておくべきこととは？ 79
行動するためにはどうするか？.....80
勉強してるけど英語が出てこないんだけど・・・その対策法って？.....82
凡人が英語の実力に差を出すポイントって？ 85
英語の勉強の組み立て方がわからない.....86
教材は役に立つかないじゃない。教材をどう使うがカギだ。 88

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

中級レベルの落とし穴 91
初心者は単語をたくさん覚えるべき？ 94
先に単語をたくさん覚えても読めない 95
辞書はお金をケチらないようにしよう 96
基礎基礎というけど、何をすればいい？ 97
英語の上達の度合い 98
職人さんから学ぶ英語のマスターの成功法則 100
中学英語の文法だけでは不十分 102
書く英語と話す英語は大きな差があるか？ 106
■ **第３章　英語の勉強を継続していくために必要なこと 108**
目先の結果に一喜一憂しない 108
どうして英語をやりたいのか明確にする 110
勉強に対する苦手意識の正体 112
人との付き合いを考えましょう 113
ムカつくことに耳を傾ける 115
最初の一歩が踏み出せないんです 117
最近忙しくて勉強しようにもできません 118
どうして英語の勉強を続けることができないのか？ 119
本当に三日坊主は直るのか？ 123
最初から英語をスマートにマスターできる？ 126
「自分には難しいからできません」という言い訳 127
自分にはそんな勉強なんて無理だと思います・・・ 129
やってみなければおもしろさはわからない 131
勉強の苦痛なイメージに振り回される理由とは？ 132
こんな間違った継続の仕方 134
すぐにやる気を失ってしまう人の共通点 137

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

英語の勉強が楽しくなるコツ 139
英語で挫折する人の共通した考え方 146
年齢のせいにする人は挫折する 149
英語の勉強で、効率を求めると上達しない理由 151
理想の勉強法が投げ出す原因と知る 153
英語の勉強を先延ばしにするクセを克服する 156
一流の英語マスターとプロ野球選手の共通点 160
英語を始めるベストなタイミングは待っても来ない 165
英語をマスターできた人がしてきた行動の秘訣 167
性格と英語の勉強が続く関係はない 169
「勉強＝悪」にしてしまう理由 172
今やっている勉強が不安になったときは 175
結果の出ない時期をどう乗り切るか？ 177
結果の出ないマイペースにならない 179
■ **最後に 185**

Copyright 2011© Zilchmarvelous All Rights Reserved.

第１章　「英会話」をするから英語が話せない

「英会話って何？」

これは私のネイティヴスピーカーの友人が私に質問してきたことです。

「私たちは英会話なんてものをやったことも聞いたこともないわ」

実はネイティヴスピーカーは「英会話」なんてものは知らないんです。

「ええ！？なんで？？ネイティヴが英会話をしないってどういうこと？？？」

ハイ、その質問にお答えしましょう。

「英会話」はズバリ金儲けだけのために作られた幻想です。

「文法とつまらない読み書きの学校英語」の対極に作られたものです。

「楽しくて読み書きや文法をしないで、カンタンにできて役に立つ」

というありもしない幻想を武器に今日の英会話事業があるのです。

だからネイティヴスピーカーは「英会話」なんて言葉を知らないのです。

ましてはやったこともないんです。

ビックリしましたか？

当たり前に巷で「英会話」という言葉をよく耳にしますが、
当の母国語で使っているネイティスピーカーが知らないなんてビックリですよね。

彼らにとって読み書きすることも話すことも単に

「英語を使っているだけ」

という感覚しかないのです。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

英語で話をすることをわざわざ「英会話」と呼びません。

我々日本人は日本語で会話することを「日本語会話」とか「日会話」なんて
呼びませんよね？

それと同じなんです。

次はこの下の会話を読んでみてください。

私たちは英会話なんてしたことがない（あるネイティヴスピーカーの告白）

私が２３歳の時の話です。

友人であるネイティヴスピーカーの2人（南アフリカ人のアデレイン、イギリス人のジョン）と話をしたことをお伝えします。

彼らはＥＬＴ（あなたご存知、学校に英語の授業で登場する先生たち）を仕事をしてました。

以下はそのときの話です。

ジョン「なあ、シュン（私のニックネーム）、そもそも日本人はなんで英会話って言葉を使うんだ？」

私「実は、英会話という言葉は、受験用の退屈で学校英語をサカナにして
今の英会話スクール業界が勝手に作ったイメージだよ」

ジョン「おかしな話だよ。」

アデレイン「まったく」

私「どうしておかしいと思う？」

アデレイン「学校で英会話ってクラスをやってるけど、私たちの国の子供に同じことをしても英語はできないわね」

私「どうして？」

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

アデレイン「私たち、ネイティヴスピーカーも英語を勉強してきたから。
ちゃんと読み書きからきちんと学校の先生や両親に教えてもらって英語を覚えた。」

ジョン「その通りだよ。俺たちだってガキのころ読み書きなんて嫌ってほどやってきたよ。」

私「そっか。俺たち日本人も読み書きは嫌ってほどやらされてね。
国語って呼ばれる時間があるんだけど、すげえ嫌いだった」

アデレイン「私、3年ここでＥＬＴやってるけど、まともに読み書きのできる子見たことない」

ジョン「俺もだよ」

アデレイン「きちんと読んだり書いたりできないから、しゃべれることができないみたい」

ジョン「そりゃ～、〝質問を紙に書いて発表しよう”って言っても、書けなきゃ言えるわけないよね」

私「そりゃそうだ」

アデレイン「私たちネイティヴスピーカーでも言葉を読んだり書いたりしながら覚えて、
それをすこしずつ口に出すようになったから」

私「それは俺たち日本人も同じだよ」

ジョン「なのに、日本の学校って読み書きをきちんと教えようとしないんだ。
これからは英会話の時代だってね」

アデレイン「学校の英語の先生が英語できないもの。教えられるわけない」

ジョン「確かに。何であんなので英語の先生なんて言えるんだって思う」

私「そんな先生多いわな」

アデレイン「私たちでさえ、きちんと英語を話せるようになるために文法やら読み書きの訓練を受けてきたよ。大嫌いな授業だったけど」

ジョン「読み書きの教育を受けてない人間も多少はしゃべれるけど、かなり限られた言葉で

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

しかもデタラメな文法になるんだよな」

私「そうだよな～。俺のばあちゃんは学校行ってなかったら、
テレビのニュースとか何言ってるか全然わからんって言ってた。
地元の方言の会話で話せる言葉も少なかった」

アデレイン「日本語のネイティヴでもそうなるのね」

ジョン「俺たちの場合もそうだろうな」

アデレイン「よくよく考えれば、私たちは英会話なんてしたことがないわ」

ジョン「考えてみれば、そうだよな」

私「そういや、俺たちも〝日本語会話”とか”日会話”なんて授業はやったことねえ」

アデレイン「私によく英会話を教えてって言う日本人の友達いるけど
すごく変な感じがする」

ジョン「俺たちにしてみれば、英語でする会話は英会話じゃなくて会話でしかない。
英会話なんて意識はしたこともない」

私「そうだよね。俺らも日本語する会話は会話でしかない。日本語会話なんて思ったこともない」

ジョン「俺ずっと思ってたんだけど、英語をしゃべりたいならまず読み書きできるようになるのが一番だと思う」

アデレイン「なんで？」

ジョン「俺、日本にきたころ、何とか日本語の表現をたくさん覚えて使おうとしたけど、うまくいかなかったんだよ。受け答えしたり、知らない言葉で質問とかされるとお手上げだった」

私「あ、それわかる。英語やってるときにあったから」

ジョン「応用ができないって言えばいいのかな？日本語会話をやってるうちは
全然日本語ができるようにならなかったね」

アデレイン「自分が丸暗記した言葉はわかっても、それ以外はわかんないよね」

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

私「第2言語でも読み書きは重要なんだな。ジョンは日本語の読み書き練習したの？」

ジョン「結構やったよ。生徒と英語だけでコミュニケーション取るのは難しいから」

アデレイン「私も。いろいろ日本語の文書とか読まないといけないしね」

私「読み書きをしてからどうなった？」

ジョン「日本語がかなりわかるようになってきたよ。多少は手加減してもらってるけど」

アデレイン「私も。読み書きを少し訓練したら日本語のコツがわかったような気がする」

ジョン「ところで、シュンはどうなんだ？かなり英語しゃべれるけど読み書きはやったのか？」

私「やったよ～。相当（笑）本読んだり、文をたくさん書く練習した」

アデレイン「やっぱり言葉を覚えるためには読み書きって重要なんだ」

ジョン「それなら英会話なんてもんはおかしいってことだよな」

これからわかるように**〝英会話”はニセモノの幻想**ってことなんです。

英語のネイティヴスピーカーがしたことないし、知らないと言うんです。

私がここから学んだのは
まがいものに振り回されないようにするには
本物の英語への考え方が必要だと言うことです。

そして、彼らとの会話で英語を身につけるためには
本当に何が必要なのかよくわかりました。

英語を身につけるための本当の考え方は英会話にはないんです。

英会話には英語を身につけるための答えはありません。

英語を身につけたいあなたが知るべきは
本当の英語への考え方なんです。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

これがなければいくら英語をやっても報われないでしょう。

要は、英語を学ぶときは英会話の「話す」ばかりにとらわれずに
読み書きにも力を入れなくてはいけません。

読み書きの出来ない人は１００％の確立で正しい英語を使って
コミュニケーションできません。

「え？でも日本人って英語で読み書きできるって言われてるけど・・・」

ハイ、それは迷信です。

その理由を次で説明していきます。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

日本人は英語の読み書きだけなら本当にできるか？

単刀直入に言いましょう。

「日本人は会話はおろか、読み書きすらまともにできてません」

これが英語をやりたいという人を見きて感じたことです。

「ええ！？ウソ～！」

「ちょっと待てよ！中高で6年も読み書きもやってるのにできないはずはない！」

こう反論される方もいます。

ですが、学校で習う英語はだいたい

リーディング

英語→日本語に訳して読む

ライティング

日本語→英語に訳して書く

こうなっていませんか？

これは英語をやっているうちには入らないです。

なぜなら

「日本語で読んだり書いたりしてるのと全く変わらないから」

また訳してやってると時間がかかります。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

リーディング

英語→英和辞典で日本語に訳してで読む→理解

ライティング

日本語→和英辞典で単語を調べて英語に訳す→書く

このやり方で勉強していると、会話の段階に持って行くときに
会話のリアルタイムなやりとりについていけなくなります。

これこそが会話ができない大きな原因です。

私はこれよりもっと大きな問題があると思ってます。
それは学校英語のやり方で勉強すると
間違った英語を身につけてしまうということです。

その内容は

リーディング

調べた英単語の訳になっている日本語は本来の英語の意味は
書かれている日本語の意味とはずいぶんニュアンスが違うことがある。

例：have to、must

学校英語ではhave to = mustで習いましたが
本来は全く違うニュアンスです。
これ調べてみてください

ライティング

日本語の文をそのまま英語に訳すと変な英語になることが多い。
例：（渋滞もなく）車がスイスイ走ってる。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

The car is running smoothly.（これは車の機械面の調子が上々という意味です）
（正しくはThe traffic is flowing smoothly.）

こんな変な文を書いてしまいます。

驚いたのは学校の先生の中に
この変な文を正解だという人がいました。

学校英語のやり方でやってるとこんなことになるんですね。
正しく読めず、そして書けもしないから
リアルタイムでやりとりする会話にいたっては
チグハグになって当然ですよね。

つまり、日本語で訳してやっている限り英語はできるようにはならない
ということです。

「訳さずに英語できっこないよ～」

ハイ、あなたよくそう言われますよ。

でも、訳さずに英語はできます。
初心者の方は最初は日本語を介さずにやるのは ちょっと難しいですから、

教材の例文とかについている訳に
こだわらないようにすることからはじめましょう。

厳密に訳を取ることをやめて

「日本語で言うとだいたいこんなこと言ってるんだ」

ぐらいで気楽にしましょう。

それから、英単語を調べるものは英和辞典で
日本語の解説がたくさん書いてあるものを選びましょう。

ここで英和辞典の訳は「日本語で言うとこんな言葉が近いのか」ぐらいで
頭に入れておきましょう。

（基本はなるべく英英がおすすめです。）

Copyright 2011© Zilchmarvelous All Rights Reserved.

慣れてきたら英和辞典を使うのをやめて英英辞典に切り替えましょう。

※英英辞典・・・英語の単語を英語で解説してあるもの

英語学習者向けにわかりやすい英語で書かれてあるものが多い。
こうやってだんだん英語は英語で学ぶように切り替えると
上達が加速しますよ。

これをもっと具体的に知りたい方はコチラ

↓

英語の勉強ならコレ

こうやって少しずつ英語脳を作っていくと
リーディングもライティングも日本語を通さずにできるようになっていきます。

会話はもちろん日本語を通さない分スピードが上がり
対応しやすくなりますよ。

世の中「会話」ばかりに注目する人が多いですが、
読み書きできないうちはいくら会話の練習しても上達しないんです。

次でこのことについて詳しくお話します。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

なぜ読み書きができないと会話ができないのか？

あなたは英語と聞くと何を思い浮かべますか？
やっぱり圧倒的に「英会話」でしょうね。

私は「英会話」人口は年々増加をしていると言われてますが、
それが不思議で仕方ないんです。

ネイティヴスピーカーは「英会話」という言葉を知らないんです。

「え？ちょっと待ってよ、英語で会話してるんだから英会話なんでしょ？」
ところがネイティヴは英会話なんて呼びません。

彼らにとって英語での会話は単なる会話に過ぎないからです。

我々日本人も日本語でする会話を「日本語会話」とか
「日会話」なんて呼びますか？

当然呼びませんよね。不自然ですから。

はっきり言ってしまえば、「英会話」という言葉は
英会話業界がウソっぱちな英語のイメージを一般に
定着させて金儲けするためだけにでっちあげた幻想でしかないのです。

だから、英語を母国語に生まれた人たちである
ネイティヴは知らないのが納得できますよね。

「英会話」の話はこのぐらいにして
「読み書きができないとなぜか会話も出来ないのか？」
の本題に入りましょう。

世の中では読み書きと会話は全然関連性がないと考えてる人が多いようです。

実際にはコミュニケーションを大きく捉えて考えれば、

大きな違いは

「文字で書くか、音でするか違い」

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

これしかありません。

ただ、これらにはそれぞれ特徴がありますよね。

読み書きは時間をかけて行うことができる。
会話は時間をかけることはできない。

ということになります。

具体的には？

●読み書きは・・・

読む・・・文字を自分のペースで時間をかけて理解することができる。
書く・・・相手に伝えたいことを文字で、しかも自分のペースで書いて
伝えることができる。

●会話は・・・

リスニング・・・耳で聞いたことを即座に理解する必要がある。
聞いたものを訳して考えて行う時間はない。
しかも、 文字で書かれてあることを読んで理解できない場合、
100万回リスニングで訓練しても意味がない。

スピーキング・・・言いたいことを即座に文にして口で発音する必要がある。
相手と会話する以上時間をかけてウンウン考えて文をひねり出せない。

しかも、自分が文字で書けない文章を口に出して
スラスラ言うことはほとんど不可能に近い。

つまり、カンタンに話をまとめると会話をスムーズにできるようになるためには
読み書きを時間をかけずに行うようにできればいいわけです。

会話のスピードに切り替えても十分対応ができるということなんですね。

あとはそれぞれの英語の音に耳と口を慣らすだけ。

このやり方が実は会話できるようになるためには一番の近道なんです。

Copyright 2011© Zilchmarvelous All Rights Reserved.

実際、私が出会った英語がうまい達人レベルの人は
全員読み書きが例外なくできる人たちです。

そしてあなたがつかえる英語の量というのはこの公式に当てはまります。

読める量≧書ける量≧話せる量

要は、読み書きのできない人は
会話のレベルが上がらないということなんです。

読み書きをしないで「英会話」をやっている人が
いつまでたっても英語ができるようにならないのは
こんなところに答えがあったんです。

英語は読み書きが大事だってわかってもらえたでしょうか？
私が読み書きを重視するもう一つの秘密を次でお話しましょう。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

英会話のバカ高い受講料

英会話の受講料を時間で計算したことありますか？

佐藤は某有名英会話チェーンの受講料を計算してみました。

半年で３６万円　１年で７２万円かかります。

しかも、一回のレッスンは４０分。
半年で８４回のレッスンです。

７２万円÷８４回＝レッスン１回 約８５７０円

この計算ですと、月７回のレッスンを受けられるので
レッスン回数７回×一回のレッスン料８５７０円＝５９９９０円
約６万円かかります。

仮にこのレッスンを１年間受けたとして、
時間はどれくらいになるでしょう？

３３６０分

時間にして５６時間
日にして２日と８時間です。

たった２日と８時間で英語がマスターできるんでしょうか？
できたらすごいですよね。

２日と８時間に７２万ものお金がかかるなんて信じがたい。

私の行っていた大学の授業料より高い金額です。

もちろん英会話スクールの料金は他にバカ高い教材費がかかります。

トータル１００万は超えるでしょう。

１０年通ったら
５６０時間＝約２３日
２３日に金額は７２０万円もかかります。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

我々日本人がいくら母国語でも

「日本語を５６時間で立派に使いこなせるようになれ」

と言われてできるでしょうか？

もちろん無理ですよね。

冷静に考えれば、英会話スクールの５６時間に
１００万円もの大金をつぎ込む気には
どうしてもならないでしょう。

こうやって考えると英会話ってすごく高くないですか？

しかも高い金額を取っておいて、成果は保証しませんよね。

しないというより、できないんです。

成果を保証して返金制度を実行すれば、
ほとんどの人がお金を返せと言ってきます。

英会話スクールのほとんどは英語が身につく方法なんて知らないんです。
だからそんなことロが裂けても言えないんです。

ちゃんとした勉強法を知っていれば、
こういうところに１００万ものお金をくれてやる必要なんてないんです。

もしあなたが効果的な英語勉強法を覚悟を決めてやると
約束してくれるなら、 私は英会話スクールの１００万円を超える勉強法を
きちんと教えます。

この勉強法サイトにも巷ではほとんど知られていないノウハウが
てんこ盛りです。

→ http://www.eigo-topgun.net/

英会話スクールに通う前に必要なノウハウを知ることの方が
よっぽどお得ですよ。

Copyright 2011© Zilchmarvelous All Rights Reserved.

英会話教材にインチキ情報が多い理由

私はムカついてます。

現役の翻訳や英会話講師までが英語の勉強法

「ラクラク１日３０分で英語ペラペラ」

などとウソばっかりの勉強法を売り出しています。

はっきり言って、彼らがあなたに本当のことを教えるわけはありません。

教えれば彼らの仕事がなくなるのです。

だから、ラクしたい人にとって聞こえのいい言葉を聞かせて
買わせようとするわけです。

実際に私も自腹で買って読みましたが、
英語が話せるようになるコツはどこにも書いてません。

どうやって英語がうまくなっていくのかなど、何も書いてません。
ある翻訳のマニュアルは最悪でした。

自分が書いた英語を見せびらかすだけの自慢が延々とされているだけ。
ぶっちゃけ言って、彼らが情報販売に乗り出したわけは
「本業で儲からないから」でしょう。

自分が儲けるためだけに「現役翻訳が～、英会話講師が～」
などと言ってもっともらしくすごそうに聞こえさせているだけです。

自腹で買って損したものばかりです。
だから、保証なんてつけないんでしょうね。

保証はつけても面倒で返さない人がいることを計算にしているからです。

本当のように話されれば、素人には本当のことかどうかもわかりませんから。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

食品偽装と同じですね。

普通の米でも「これがコシヒカリです」とプロの人に言われれば、
ウソでも信じてしまいます。

プロにはわかっても、素人にわからないものです。

しかも買ってもその後は何の音沙汰もありません。
ただの１度もメールを送ってきたものはありませんでした。
質問もできない、サポートもしない。

これで誰が英語をできるようになるのでしょうか？
こういうのは売ってる側が儲かるようにしかできてません。

私は多くの達人たちに会い、自分で実践した英語の勉強法を体系化しましたが、
ラクラクなだけでできる勉強法なんてありません。

ラクして努力なしで英語をできるようになるなど一言も言いません。

そのような事実はないからです。

あったら、世の中英語マスターだらけのはずです。
あなたの周りの人がみんな英語ができることなんて珍しくもなんともないでしょう。

しかし、現実にはできる人は少ない。
今の世の中のトレンドは「ラクで、簡単で、早く結果が出る」
ですが、これは何にでもできるわけではありません。

これは「人間の願望のトレンド」であって、
「英語をマスターすることの事実」とは全く関係ありません。

もし仮に可能になるとしても、
マトリックスのような世界にならないと無理なことです。

本当においしいものはラクしては作れません。
お金持ちはラクな方法ばかりでお金持ちになっていません。
プロスポーツ選手はラクな練習だけでなれません。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

インスタントラーメンは３分でできますが、
本物のおいしいラーメンには足元にも及びません。

しかも英語はインスタントラーメンのようにはいきません。

本当は世の中、ラクばかりをして結果が出るようにはできていません。

そのことをちゃんと見据えていない人が多い気がします。

９０％の人がラクばかりして英語をやろうとします。
どんな分野の成功者と呼ばれる人は誰もやろうとしないことをします。

誰もやらないことだから、あなたがやればぶっちぎりですごくなれるわけです。

みんながラクラクの幻想に惑わされているうちに
早く現実的に誰もやらない勉強法を実践すれば、実力をつけることが可能でしょう。

みんながラクラクに飛びついているうちがチャンスだと思います。

結果の出ないインスタントラーメンの勉強法より、
地味でも本物になれる本場のラーメンの勉強法を私はお勧めしたいのです。

人生を長い目で見れば、その方が実力も結果もついてきます。

だから、私は本気の人にしか英語の勉強をやってほしくありません。
ラクばかりしたい人をレベルアップさせることはできないからです。

レベルアップするのは基本的に自分次第で、
私はそのお手伝いをするだけです。

希望の方にはサポートも真剣にしています。
それは私があなたと真剣に英語マスターへの道を歩みたいという
真剣な思いからです。

もし、他のラクしたいばかりの人とは同じ真剣な思いになれないなら、
あえて言います。

英語はやめた方がいいです。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

そんな甘っちょろいお遊び気分が抜けない程度の気持ちなら、
やってもすぐに言い訳します。

絶対にやってやるという覚悟を決めること。
これを忘れてほしくありません。

「私は今から何があっても英語をマスターする以外に道はない」という
覚悟を決めてから始めてください。

そうじゃないとまたインチキにだまされることになります。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

英語ができるようになるために必要なことって？

英語ができるようになるために必要なことは何だと思いますか？

これはいろんな人に聞いてみたものなんですが、

「明るいこと」
「頭がいいこと」
「素直であること」
「超前向きであること」
「努力家であること」

などなど、プラスで明るいことがいっぱいでてきますね。
あなたいいとこ突いてますね。

いい答えがいっぱい返ってきました。

でも、凡人が比較的短期間で英語ができるようになるためには
これよりもっと大事なことが２つ必要なんですよ。

今からでも誰でもできるあることです。

一つ目は

「へそ曲がりであること」

それも戦略的へそ曲がりです。

二つ目は

「ネガティヴであること」

それも**戦略的ネガティヴ**です。

これ読んで気分を害されるかもしれませんね・・・
ゴメンナサイ・・・

でも、これは事実です。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

性格を悪くしろ！と言ってるのではなくて
英語に対する情報に接するときのものの見方と考え方を言ってるんです。

これズバリある有名な英語の達人にも実践してるんです。
わたしの友人のなかでも英語がとびっきりできる女の子がいますが、
彼女のへそ曲がり思考でのウソの看破する力はスゴイです。

どうして「へそ曲がりで。ネガティヴなヤツ」が英語ができるようになったか？

それは

「今現在英語の情報が溢れすぎてどれも本当のように聞こえるから
それらに騙されないようになるためなんです。」

実際、前向きすぎる人ほど英会話業界に騙されることが実は多い。

1日10分聞くだけで英語ができる！

とかいう誇大広告に載せられて買ってしまいます。

わたしがかつてプライベートレッスンで教えた生徒さんの中にもいました。

彼らのように前向き過ぎる人というのは悪い面を考えないから
もっともらしいことを聞くと、なんとなく納得してしまいがちなんです。

とってもいい人なんです。
性格のいい人たちなんです。
明るくて、人を疑うようなことをしない
とても純粋な人たちなんです。

ですが、それがアダになってしまうんですね。
そういう人のいい性格につけこんで使えないものを売るやつは許しがたいです。

私は持ち前のへそ曲がりぶりが助けになりました・

役に立つ本当の情報だけ手に入れたおかげで
わずか1年で誰もが驚くほど上達できました。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

このときばかりは我がへそまがりさを感謝しました。
つまり、へそ曲がりにネガティヴに考えろというの理由は

「今の時代は英語の使える情報より、使えない情報が氾濫している」

しかも

「もっともらしく本当のように聞こえて、おおくの人が疑いをかけていないもの
こそウソが多い」

要は英会話業界に騙されて、振り回されたり、お金や時間を無駄にしてほしくないから
こういうことをあなたに知ってほしいんです。

今英語をやっている人、これからやろうとしている人、
どちらの人も英語に関するいろんな情報を耳にすることになるでしょう。

そしてもっともらしい情報に接することがあれば
そのときはあえて意図的（戦略的に）疑ってみてください。

「これホントかよ？」
「これウソじゃないの？」
「これもっともらしくって怪しい・・・」

とあえてへソを曲げてもう一度吟味してみてください。

そうすることでだんだん必要な情報が何なのかがわかるようになってきます。

人のいいあなただからこそだまされてほしくないので
これをあえて書きました。

特に素直な人、前向きな人は達人になるために今日から
英語に関することだけは戦略的にへソを曲げてみてください。

日常接している、「英会話」の情報のウソがたくさん見抜けて
くると思いますよ？

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

読み書きを重視しなければならない秘密とは？

「佐藤さん、なぜ読み書きを重視しなければいけないの？」
「その理由って何なの？」

この会話重視のご時世に逆を行くことを言うので、
いろいろ反響がありました。

「はやく教えろよ！」

ハイハイ、わかりましたからそうあせらずに・・・

その理由は三つあります。

理由その１　「読み書きができないと自分の力であたらしいものを吸収できない」

英会話スクールに通う人によくいますよ。

先生に教えてもらったものだけしか使えない人。

こういう人はたいてい

・誰かに教えてもらわないと単語の読み方がわからない
・誰かに教えてもらわないと新しい表現の使い方がわからない

つまり誰かに教えてもらえなきゃ新しいものが身につかない人なんですね。

これじゃー生かかってどれぐらい使えるようになるんでしょうね？

時間がかかりすぎるんです。

つまり読み書きは新しいものを吸収するために必要な技能となるんですね。

会話なんかは特に本などから吸収すると思いますが、

読み書きがまともにできない人はどんな教材でも役に立たないんです。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

むしろ役に立てれないと言った方が適切かもしれません。

自分で新しいものを吸収できないってことは
それだけ上達が遅れるってことです。

これは読み書きができないで上達しない人の致命傷ですよ。

- **理由その２「読み書きができないと正しい英語を使っているかどうか客観的に自分で判断がつかない 」**

もし、自分が使っている英語が
正しいかどうか客観的に自分でわからないとしたら？

これヒドイですよ、ホントに。

ネイティヴの友達がいるからと言って
あなたの英語をわざわざ

「おかしい英語使ってるよ」

と言って毎度、訂正してくれる人ほとんどいないです。

スクールか何かで誰かに指摘してもらわないと
わからない状態で会話をし続けるとどうなると思います？

デタラメ英語を平然と使うようになります。

あなたに知っておいてほしいのは
何語でもそうですが語学をやるときは

「いつでもネイティヴが自分の面倒を見て間違いを指摘してくれることはない」

ということを肝に銘じておいてください。

あるときカナダに3年留学してた女の子に会いましたが、
彼女の英語は・・・

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

ヒドかった・・・（汗）

アメリカ人としゃべっても何を発音してるかわからない。
私が直接彼女の言っている英語を聞いたら、文法もクソも発音もなかった。

超デタラメすぎる英語のオンパレード・・・

英語じゃない言葉だ・・・

「これじゃ会話できね～よ」

内心そう思ってました。

しかもこの彼女、どういうわけか
自分の英語に自信たっぷり（オイオイ）

デタラメ英語で話されたアメリカ人のお兄ちゃんが

「サッパリワカラン」

と言うと

逆ギレ！（オイオイ、このお嬢ちゃん頭大丈夫か？）

後でちらっと聞いてみたら、
読み書きはほとんど練習してなかったそうです。

これおそろしいですよね？
3年海外にいてまともな英語が使えないんですよ？

その間の時間とお金、相当無駄ですよね。

だから、こうならないためにも読み書きを通して

■読むことでは・・・

・ネイティヴがどのように英語を使っているかを文字で確認できる
・そして自分が使うときにも参考になるものとして活用できる

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

■書くことでは・・・

・自分が学んだ表現などを文字にすることによって
文法的に間違いがないか、など間違いを確認できる

・覚えたものを書くことで、間違いがないか正確さを確認しつつ
アウトプットできる

などなど、こういったことができるんです。

会話でも正しい英語で話すためには読み書きは必須なんですよ。

理由その３「英語を使うことがある環境に身を置く以上読み書きをしなければいけないことが多い」

すごくシンプルな話ですよね？

でも、多くの人が見落としてます。

例えば留学したい人なら

・レポートを書くための材料として英語の文献を読まなければいけない
・レポートをもちろん英語で書かなくてはいけない

英語で仕事をしたい人は

・会議の資料やメールなどを英語で読まなければいけない
・資料やメールを英語で書かなければいけない
・契約書や請求書など仕事に関わるものを英語で読み書きできないといけない

海外で生活すれば

・アパートを借りたり、ホームステイ、学校に行くなどをすれば契約書を読めなければいけない

・電化製品のマニュアルを英語で読まなければならない

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

・海外の携帯電話を買うときは英語でパンフレットを読めないとサービスの具体的内容がわからない
・仕事をするためには英語で履歴書、自己ＰＲを英語で書かなければならない

などなど、あげればきりがないほど
読み書きしなければいけない状況が出てきます。

これは日本でもネイティヴと何らかの形で接するなら
メールのやりとりとかでも読み書きは必要になってきます。

読み書きできない人は電話を英語でこなすのは厳しいですね。

カンタンな内容なら何とかなるかもしれません。

要は、英語に接しているかぎり読み書きが
必要になってくる状況があるってことなんです。

我々日本人でも日常生活を会話だけで済まされることってないですよね？

日本語でも読み書きがまともにできないとしたらどうします？

おそろしい状況になりそうですね～

不便すぎて。

どこかで何らかのかたちで読み書きしなければいけませんよね。

英語もそれと同じことなんです。

それなのに！

一部の英会話スクールは

「読み書きばかりするから“英会話”ができない」

と声高に言っています。

これよく考えるとバカバカしいことですが、
毎年何万人がこれにだまされてます。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

これを読んでくれたあなたはもう
だまされることはないでしょう。

理由その２でも書いたとおり、
読み書きができないとまともな英語が会話でも使えないどころか
不便なことが多すぎるということがわかりましたからね。

役立たずなのはむしろ“英会話”のほうですから。

次は読み書きのために必要な英文法について解説します。

読み書きのために必要な文法

文法・・・
ここ10年もたたないうちに日本人が英語が話せない原因は
文法ばかりやるからだと言われるようになってきました。

多くの英語学習者あるいは留学生が文法を軽視し、
「英会話」中心が一番だということが常識として君臨しています。

しかし、文法を勉強することが日本人の英語ができない原因ではありません。

むしろ使いこなせるほど定着していないことが最大の原因です。

ある二人の男のエピソードです。

二人はほぼ同時に豪州に入国しました。

一人目の男はあるアジアの国のとても裕福な家庭の出身。
いわゆるお金持ちの家柄の男でした。

二人目の男とは日本人。
学生時代に昼も夜もないバイト生活でためた資金で豪州にやってきました。

この二人の英語へのアプローチは全く異なっていました。

一人目のアジアの男はロ々にこう言っていました。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

「ボクは“英会話”ができるようになりたいんだ。
そうすればいい仕事につけるしね。だから文法や読み書きの
練習はしないんだ。会話ができる方がいいからね。
文法なんて必要ないさ」

二人目の日本人の男はこう言っていました。

「海外で暮らす上で大事なのはまず正しい英語の読み書きができることだ。
会話は読み書きができないと伸びることはない。だから。まずは読み書きを
きちんとできるレベルにしよう。そのためにまずは文法をきちんと使いこなせるレベルへ昇華させよう」

この二人は1年後どうなったのでしょうか？

まずアジアの裕福な家庭の男。
彼はたいして英語ができるようにはならなかったのです。

彼を知る人物にいろいろ話を聞くと、

「彼の英語はここへきた頃と大してかわりはない」
「会話の英語はお粗末過ぎて何を言っているかわからない」
「メールは読めたもんじゃないね。あれは英語と呼べない」
「あれで国に帰っても英語の仕事はまず無理だな」

こう散々に酷評されていました。

そして達成感もないまま傷心のまま帰国。

二人目の日本人の男。

豪州で彼を知る人物は口々にこう話します。

「アイツはここにいる日本人の中で最も英語ができるヤツだ」
「アイツの英語はしっかりしている。こんなにきちんと読み書きのできるヤツなんて
ここ10年見たことなかったよ」
「英語を身につけたいのなら、アイツに話を聞きにいくといい。
アイツは誰よりも勉強してるから」
「アイツの会話の英語は他の留学生よりはるかにいいね。
発音も表現もネイティヴに限りなく近い。」

Copyright 2011© Zilchmarvelous All Rights Reserved.

そうこの男の英語に関しての評判はとてもよかったのです。
“英会話”に走らなかったのに“英語ができる”と評判だったんです。

この日本人の男の正体とは

実は・・・

私なんです汗(^^;)

「そういうオチかよ！ヾ(。｀Д´。)ノ彡☆ブーブーッ!!」

そうツッコミがきそうなんで、早速理由を説明しましょう。

前回で読み書きができないと会話もままならないことを説明しました。

詳しいことはこちらにまとめてます。

↓
詳しい英語の勉強法

まず文法が必要な理由を挙げます。

・文法は正しい英語を使っているかどうかの指標となる。
・文法の知識は文の意味を構造からわかるようになるために必要
・文法の知識があるとたくさんの文のパターンが作れるようになる。
・自分が間違っているかどうかを自分で判断できるようになる

つまり、**文法をきちんとマスターするということは**
自分が正しい英語を使うための指針となるわけです。

文法をきちんとしていない人は自分が間違った英語を使っていても
わからないので、自分でわかりません。

だから、誰かに指摘される以外は気づくことがないんです。

ほとんどは指摘されないままでいるので間違った使い方が定着してしまい、
デタラメ英語を平然と使うようになるのです。

Copyright 2011© Zilchmarvelous All Rights Reserved.

こうしてこのデタラメさがわからないから会話にも書くことにも
デタラメ英語を使ってしまうんです。

文法をきちんと学習した人は自分で間違いに気づくことができますので、

「あ、今の間違ってた」

と使いながら気づくことができるのです。

文法の一番のメリットは

「自分の間違いに気づき訂正する能力がつく」

と言っても過言ではないでしょう。

それといろんなパターンの文を作れるようになるので絶対に必要なんです。

“英会話”をやり続けてもたいして上達しないのは

・文法の間違いを訂正できる能力がないこと。
・自分でさまざまなパターンの文を作れないからを頭に浮かばない。

だから会話なんてできっこないんです。

これが英語が話せない人の原因なんです。

文法が必要ないなんて考えを改めましょう。

文法こそ英語の達人への一番の近道なんです。

Copyright 2011© Zilchmarvelous All Rights Reserved.

どうして英語が出てこないのだろう？

「なんで英会話スクールに行ってるのに英語が出てこないの！」
「留学したのに全然英語がしゃべれない！」

私のところにこんなふうに相談に来る人が過去にもたくさんいまし、
今もいます。

「きっと私には佐藤さんのように才能がないんだ・・・」
「アタシは佐藤さんのように頭よくないし」

こんな言い訳が毎回同じように飛び出してます。

そしてしまいに

「わたしにはできっこない」

です。

これを何百回聞かされたことでしょうか。

あの、これハッキリ言って

ムカつくんです。

こういう言い訳をする人。

だから、最初についついお説教してしまいます。

「オイオイ、せっかく相談にきてんだからなんとかしてやれよ」

よく友人にこんなふうになだめられます。

でも、ハラが立ってしょうがない。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

なぜなら佐藤本人は

「自分に才能があると思ってない」
「決して他人より頭がいいと思ってない」

英語ができるようになったのはそんなこと関係ないからなんです。

才能とか頭の良し悪しやら納得できる理由を探そうとするからハラが立つんです。

そもそも英語が出てこないのには本人たちの勉強法に問題があります。

ただ教材やら本を眺めて

「これってこんなふうに言うのか～」
「これ使えそう」

と思って勉強がオシマイ。

それで覚えて使えるような気になってしまうんです。

紙に書いて使ってみる練習したり。声に出したりまったくしていない。

タチが悪い勉強法は

「紙に何回かそのまま文をノートに書き写すだけをノルマにしていること」

使えるようになるための目的はそっちのけな勉強の仕方で
まるで丸暗記の受験勉強と同じやり方なんです。

相談にきたある女性の方はこれを自慢げに見せながら

「こんなに書いて練習したのにちっともできるようにならない」
と言いました。

こういう勉強法でいくらやっても英語は使えるようになりません。

この原因を相談に来た人たちに
こういう勉強法をよく格闘技に例えて説明してました。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

それを使って説明しましょう。

まず、英語が出てこないと思う人は

「技が本当に体に身についてない状態」

パンチやキックのやり方はこうだと頭でわかっているだけ、
あるいは考えながらでしかできない状態です。

ちょっと時間をかければなんとかできる状態です。

英語が出てこないという人はこんな状態で
試合（ネイティヴスピーカーと会話する）しようとしているのです。

あなたに一つ聞きたいのですが、
格闘技の世界で技が身についていない人が
リングに上がるとどうなります？

聞くまでもありませんが
まず何もできないままボコボコにされてしまうのがオチでしょう。

つまり覚えた技が相手（ネイティヴスピーカー）とやりあう状態ではないわけです。

リングに上がっているのに

技の打ち方を

「え～と、ここはこうで、こうで・・・」

と考えながらやっているわけです。

考えているうちに相手に次々技
（知らない英語、自分が使えない英語で答える必要があるもの）
を出されてなすすべなくＫＯ（まともに覚えたものすら使えずに終わる）される。

こんな状態なんですね。

こんな状態のままの技があるのに次々新しいものを
覚えようとしているから、いつまでたっても英語が出てこないんです。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

考えながらでしかできない技は試合（会話）では使えないんです。

だから、いろいろやったけど英語がうまく出てこないと
思ったらもう一度確認してみる必要があります。

「ホントに自分はこれを使えるようなレベルにしていたか？」

自分に質問しながらチェックしてみてください。
こうすると自分の状態がよくわかります。

今日は新しいことを覚えようとする前に
自分自身をチェックしてみてください。

英語が出てくるようになるためにはどんな練習が必要？

「覚えた英語を実際の場面で使えるようにしたい！」

これは英語を学ぶ人ならだれでもぶち当たる悩みの種です。

そこでこのレポートでお勧めの方法を紹介します。

覚えた表現の定着が圧倒的に高く、実際使うべき場面でポンと出てくる
必殺の練習とは・・・

妄想トレーニングです笑

妄想トレーニングといっても

「覚えたい表現を使えそうな場面を想像しながら口に出してみる」

というだけなんですが、 これ効くんですよ。

実際、私は半年で１５００ぐらいの表現を忘れることなくマスターしちゃいました。

Copyright 2011© Zilchmarvelous All Rights Reserved.

例えば、

I didn't hear that.「（都合の悪いことを）聞かなかったことにしよう」

という表現の場合、友人からあんまり好きでない男の人（女の人）が
あなたをデートしようって誘いたいと聞いた場合を想定します。

それに対してあなたが

〃I didn't hear that.〃

と言っている場面を想像しながら練習してみる。

場面は他にもいろいろあると思いますが、
２，３つ場面を想像して練習しておきます。

そうすると実際に似たような場面に出くわすと

〃I didn't hear that.〃

と自然に出てくるようになります。

これいわゆるプロスポーツ選手がやっている
イメージトレーニングのようなものです。

この妄想トレーニングで様々な場面を想像しながら
練習するととても効果があります。

このトレーニングを科学的な視点で見ると、 場面という視覚的なものを
思い浮かべるころで右脳の刺激にもなります。

覚えが早くなるようです。

ぜひ活用してくださいね。

それと覚えるものはちゃんと読み書きが
きちんとできるようにすることは必須です。

忘れないようにしましょうね。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

英単語の丸暗記が役に立たない理由

「英語は単語力だ」と世間ではよく言われてますが、
果たしてそれは本当でしょうか？

よく単語をゴロ合わせか何かで大量に意味を暗記しようとしてる人がいますが
あれははっきり言って役に立ちません。

単語を覚える目的は最終的に使うことです。

いくら丸暗記しても使うことができなければ意味がありません。
また日本語の訳で意味で覚えるのは百害あって一利なしです。

覚えるのに時間はかかるし、覚えても忘れやすい。

使うために単語を覚える必要があるのに
「覚えること」そのものに力を注ぐ・・・

気をつけておいてほしいのは
単語を覚えるのは使うためだといことです。

丸暗記するだけのことは、まるで格闘技の試合をするのに
技の名前ばかり覚えてるようなものです。

回し蹴り、カカト落とし、飛び後回し蹴り・・・
格闘技の試合でいくら技の名前を暗記しても使えません。

実際に体で実践して覚えてから、
それらを試合中に使えなければ意味がないですよね？

今、単語を丸暗記するよりは、今知っている単語で読むには意味がわかるけど、
実際使い方よくわからんというものを使えるようにした方が、
英語はマスターできるスピードが早いのです。

単語を覚える必要性がないと言っているのではなく、
単語をただ暗記するのは意味がないということを言いたいのです。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

単語を覚えるコツは実際に

「学習していく中やネイティヴとやり取りしてるときに
意味や使い方がよくわからなかったもの」

を調べて意味と使い方を確認して、
実際に使ってみるのが一番効率的です。

実際に自分の体験で出会ったものですから、
「あ、あのとき出くわした単語だ」と記憶にも残りやすいですしね。

単語帳の丸暗記ものやゴロ合わせで単語を覚えるのは
無駄な労力なのでやめましょう。

そういうので単語を覚えられない自分を責めなくてもいいのです。

そんな覚え方しても何の役にも立ちませんから。

一度にたくさん単語を覚える必要はありません。

毎日1個でも2個でも出会ったものを確実に使えるように
する方が英語の幅が広がる近道です。

本当の単語の覚え方理解してもらえました？
覚えられない気持ちの負担を軽くできたでしょうか？

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

英語は才能がないとできない？

「どうせオレ（私）なんて才能ないから英語なんてできっこない」
「佐藤は才能があるからできるんだよ～」

こんなことを言う人がたくさんいます。

英語ができる人は何か特別な才能があると思っている人がいますが、
これは違います。

私なんて才能のかけらもなかったヤツです。

英語嫌いのサラブレットぶりなら誰にも負けませんよ？

うちの父「英語～？アルファベット見るとジンマシンなるわ」

うちの母「A，B、C、D（ジー）、F、G（ジー）・・・」

いまだにD（ディー）とG（ジー）の区別が出来ない母です・・・

うちの兄「世界の共通語を日本語にしてまえ！英語なんかいらんわ！」
（センター試験で３０点取って大喜びしてた兄です・・・）

うちの弟「英語って言葉を俺の前で言うな～(▼O▼メ) ゴルア！」

うちの家族、みんな英語が大嫌いです。

典型的な純正英語嫌いの日本人家族ですよ。

英語なんて必要ないって言い切ります。

今では日常的に英語を使ってる私は家族の中では

「うちの家族でオマエが英語ができることは世界の７大不思議より不思議だ」

と言いたい放題言われてます(ーー;)

しかしそんな家族の中でなぜ私だけ英語ができるようになったのか？

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

それはあることを理解すればよかっただけです。

そのあることとは実は

「英語がどのように上達するかを知り、
それに合わせて組み立てた正しい勉強方法でやれば誰でもできるようになる」

ということです。

正しい勉強法というのはまず

「英語はどのように上達していくのか？」

を知ることから始まります。

「え？ちょっと待ってよ。方法を先に教えてよ」

とよく言われますが、どのように上達するのかを知らなければ
どの方法が正しい勉強法なのかがわかりません。

また世の中の使えない役に立たない情報に振り回わされて
無駄にお金と時間を使ってしまいます。

英語ってどんなふうに身についていくのかさえ知ってしまえば
あとはその勉強法を組み立てて実行するだけ。

実に単純です。

英語に才能なんて関係ないんですよ。

要はきちんとやればできるようになります。

日本人の感覚は英語はとても自分の身近にないものと思ってますが、
そんなことは決してないです。

上達する流れを元にしてそれに合わせて勉強法を組み立てれば
誰だってできるようになるんです。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

「才能がない」

なんて言い訳は今日限りでやめましょう。
やればできるようになるんです。

要は

「できるかできないか」

ではなく

「やるかやらないか」

です。

英語嫌いのサラブレットができたんだからあなたに
できないことなんてないです。

才能がないなんて落ち込んでるヒマがあったら
やるだけやってみてください。

英語なんてやったもん勝ちです。

やった人はできるようになるし、やらない人は一生できないです。

英語ができるできないの結果はいたって単純ですよ。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

初心者が資格の勉強をしてはいけない理由

資格を取りたいからと英語の勉強を始める人が間違いを犯すこと。

それはいきなり試験問題で勉強することです。

なぜ、特に初心者が、試験問題をいきなり勉強してはいないのでしょう？

答えは実は簡単です。

使えるようになるための勉強と、資格試験の勉強とは全く別物です。

資格試験の勉強は点数を取るための対策をする勉強です。

実際に小手先の試験対策でＴＯＥＩＣを
相当の高得点を取った人に会ったことがあります。

彼女はまったく話せないし、
書く英語もかなり問題がありました。

そう仮に小手先の試験対策の勉強で資格を取っても
実践で使えないのです。

仕事で使いたいからと小手先で高得点を出しても、
実践で使えなければ仕事に支障をきたします。

資格を取りたいのは大いにいいことですが、
それはあくまで使えるようになってから。

使えるようになったら、特に対策をしなくても高得点はとれます。

実際にＴＯＥＩＣは英語が使えるなら、
対策なしでも８００点は取れるようになります。

結局のところ、資格の勉強から入るのはよくないのです。

使えないのに高得点を取っても、
使えないものは使えないので役に立たないのです。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

つまり、資格を取るのはきちんと使えるようになったついでに
取るぐらいの気持ちでいいのです。

くれぐれも目標が「ＴＯＥＩＣ○○○点」だからと言って、
ＴＯＥＩＣの勉強はしないようにしてください。

初心者の方はとくに、最初は資格の勉強ではなく
「使えるようになる勉強」の方が大事ですよ。

くれぐれもこれは厳守が必要なことです。

英語は間違いを気にせずどんどんしゃべればうまくなるのウソ

私が22歳のときにワーキングホリデーでオーストラリアへ渡ったころの話です。

ある日本人女性からこんな有難くないアドバイスを受けました。

「英語をしゃべれるようになりたかったら、
間違いを恐れず何でもどんどんしゃべればうまくなる。」

「ネイティヴにもどんどん話しかけなよ。
読み書きなんてたいしてできなくても、私はしゃべれるようになったんだから」

もちろん最初から間違いをせずにしゃべれるなんて思っていたわけではありません。

だが、この考え方は恐ろしく上達に悪影響をもたらします。

まず間違いばかりの英語をしゃべりまくれば、人格を疑われる。

「英語の国で育ってないから、しょうがないじゃないか」

こういう思いもあるでしょう。

しかし、英語の国の人たちに認めてもらいたければきちんと正しい英語を話すべきです。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

実はこの彼女の英語は言うまでもなく、
勘違いしていて、実力はたいしたことありませんでした。

ただデタラメにしゃべり、それがただなんとなく意味が通じてるだけだったというだけ・・・

文法はメチャクチャ、発音もメチャクチャ・・・

この彼女は仕事をしていると言っていましたが、
いろんなところに行けばさぞ人格を疑われたことでしょうね。

仕事で英語を使うのにこのザマでできたつもりだとして、
どうするつもりだったのでしょう？

あなたがもし、ある外国人が

「日本のこと大好きです。日本語も大好きです。もっと日本のこと知りたいです。」

と聞こえのいいことを言いながら、
日本語を正しく学ぼうともせず、
メチャクチャな日本語を何でもかんでも話し続けるようなら、
この人を歓迎するでしょうか？

きっと多くの人はしないでしょう。

「日本語が大好きだって言うなら、もっとちゃんと勉強しろ！」

と言いたくなりませんか？

同じように、英語を学びにきている人間が、英語の間違いも気にもせず、
デタラメ英語をしゃべり続ける人を、英語の国の人は認めてくれません。

デタラメな間違い英語を気にもせず、話す人は人格を認められないのです。
英語圏で暮らすということはそのぐらいシビアなんです。

気をつけましょうね。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

第２章　効果の高い英語勉強法をするには？

英語を勉強するときの知っておくべき３つの鉄則～その１

鉄則その１
「知らないものは出てこない。使えるものは自分が練習して頭に叩き込んだものだけ」

第二言語として英語を学ぶ上で注意しなければならないことは
「英語は触れているだけでは身につかない」ということです。

毎日英語に浸かっている環境にいるからといえども、
練習しないのであればものになりません。

まして英語浸りの環境にいくら長くいても、自分の知らないもの、使えないものは、
とっさに出てくるようになることはないのです。

結局、最終的には「あなたが努力して覚えたこと以外は使えない」というのが
第二言語として英語を学ぶ者の宿命なのです。

これが「留学＝英語ペラペラ」の神話が紛い物であることの要因の一つなのです。
ただ漠然と英語に触れているだけで英語が使えるようにはならないのです

英語を勉強するときの知っておくべき３つの鉄則～その２

鉄則その２
「英語の達人になりたいのなら、毎日勉強する」

当然と言えば当然です。英語の達人になりたいのならば毎日勉強すればいいことです。

しかし、これを言うと

「(￣Д￣)エー　毎日勉強しなきゃいけないの～？」

と不満を言う人がいます。
（実際非常に多い。安易に英語をやろうとする人は勉強に対する覚悟や気合が無い人間が多い）

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

海外に留学している日本人の８０％がこんなことを言っている有様です。
勉強しにきたのにこんなことを言っている人間が多いのです。

高いお金を払って海外にきている訳ですから、
勉強をがんばるのは至極当然のことではないでしょうか？。

私自身、豪州滞在中に大学を出て一度社会に出てから留学した人間の中に

「勉強の仕方がわかんな～い(￣Д￣)」

などと言い訳を言う人間に何度も会いました。

元々勉強というものは自らが努力を重ねて精進していくものです。

英語の勉強というのは中高の定期テストと違って、
試験前にちょこっと勉強すればいいものではありません。

毎日コツコツしてはじめて上達するのです。
地道にコツコツするからこそ達成感があるのです。

英語の上達は日々の努力無しに有り得ないのです。

いかに英語ネイティブの恋人を作っても自分自身が勉強しなくなったら
伸びない人がいるのはこういう理由からです。

くれぐれも日々の精進から逃れる言い訳をしないでください。
逃げても上達が無いだけです。

逆に言えば、勉強から逃れるためのいかなる言い訳をせずに日々勉強するならば、
達人への道へまっしぐらなのです。

言い訳する時間があるならば勉強に使う、これこそ凡人を達人へ導きます。
凡人でも英語はできるようになります。

それは

「当たり前のことは当たり前にやる。」

これに尽きますね。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

英語を勉強するときの知っておくべき３つの鉄則～その３

鉄則その3
「受験対策用の教材は使うな」

受験用の問題集などを語学学習用の教材として使っている人がたくさんいます。
おそらく何らかの形で「中学・高校の復習をするといい」などの情報を手にしたのでしょう。

中学・高校で習う分を“正しく”マスターできればかなり使える表現は増えます。

しかしだからといって受験用の教材を使っていいということはありません。

なぜなら受験対策の教材というのは

「受験に合格することを目的に作られた教材であって、語学習得のためではないから」

です。

受験用の教材の困ったところは問題を解いただけで勉強した気になってしまいます。

語学で大切な事は問題を解いたかということよりも

「使えるようになったか」

が問われるのです。

さらに受験の教材というものはかなりの部分で
間違った使い方を書いているものも少なくありません。

（ex. will＝be going toと書いてある。しかし 同じ未来の事を指してもニュアンスが全然違う。 実際同じものとして考えられていない）

こういった類のものはほとんどは日本人が書いているので
仕方無いことなのかもしれません。

Copyright 2011© Zilchmarvelous All Rights Reserved.

困った事に学校の先生が教えている文法などもでたらめであることが少なくありません。

英語をマスターしたい人は受験勉強をしたいわけではないはずです。
ならば、受験勉強は即刻やめなくてはなりません。

教材選びに新しい基準ができるはずです。

簡単なことです。

英語が使えるようになりたいのであれば「受験用の問題集は使うな」ということです。
そして「使えるようになるための教材を選ぶ」ということが必要です。

英語の達人へ導いてくれる教材選びの基準は以下の通りです。

1.学識も教養もあるネイティブスピーカーによって書かれたもの、あるいはこれを翻訳されたもの

2.単なる問題集でないもの・きちんと解説がなされているもの

3.使えるようになること・使うことを前提に書かれたもの

4.日本人だけで書かれてないもの・ネイティブが全く関わってないもの（特に受験対策もの）

いい教材を選ぶ基準はこの４つです。
使える教材はこれらに当てはまるものが多いのです。

ここまでお話ししてきたことは特に文法書選びのことだと言っても過言ではありません。
でたらめ英語を書いている文法書は使い物になりません。

文法書選びを間違えた時点で
間違った英語を使い続けるはめになることも少なくありません。

特に文法書に関しては受験用の教材は避けるべきです。

どうせ英語を学ぶならばきちんとした英語を学びたくないですか？
この鉄則は守ってくださいね。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

英語をやる人が絶対に振り回されてはいけない迷信集

実はプレゼントがあります。

それは

「英語をやる人が絶対に振り回されてはいけない迷信集」

です。

この情報を知らないだけで、
今も大金と時間を失っている人が後を絶ちません。

あなたにはそうなって欲しくないので、必ず読んでいただきたいのです。

もちろん無料です。

以下のURLよりダウンロードしてください。

▽「凡人が英語をうまくなるために絶対知っておくべき５つの迷信」

http://bonjinsaikyoueigo.com/freereport/meishinreport.pdf

URLにカーソルを合わせて右クリックし、出てきたメニューから
［対象をファイルに保存］を選んでください。

※ なお、無料レポートはPDFファイルとなっており、閲覧には
Adobe Acrobat Readerが必要です。

お持ちでない方は、Adobe社のホームページより入手し、インストール
してください（無料です）。
http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html

Copyright 2011© Zilchmarvelous All Rights Reserved.

英語に合わせて自分の行動を選択する

「英語をマスターしたいなら、英語に合わせて自分の行動を選択する」

これが実はシンプルで一番結果の出る方法です。

ところが、実際のところどうでしょう。

多くの人は自分の願望や都合だけを考えた行動をしています。

「こんなふうにしたくない」
「こんなふうにラクラクに英語をマスターしたい」

自分にこだわります。

これが適切な行動を阻む原因です。

英語の特徴に合わせて行動さえすれば誰でも英語はマスターできます。

私もかつて自分の願望や方法にこだわり5年も遠回りしました。

結局のところ、自分の願望を英語が合わせてくれるのを期待するのは 無理があります。

英語には意思がありませんから。

英語はマスターしたい人が誰であれ、都合も願望も聞きません。
我々が英語に合わせるしか方法はないのです。

「敵を知り己を知れば、百戦危うからず」

これは英語にも言えることですね。

Copyright 2011© Zilchmarvelous All Rights Reserved.

１００人いたら１００通りの勉強法があるのか？

「私は１００人いたら１００通りの勉強の仕方がると思うんです。」
「人はそれぞれ個性とか性格とかあるから、あなたの勉強法は私には合わない」

私が今まで数百人以上の人間に英語の勉強法を聞かれたときに
「こうすればいいですよ」と答えたときに返ってくる反応です。

こう答えた人の９９.９９%は英語ができるようにならない人です。

こういう「評論家」は一生英語ができないでしょう。

「え！？どうして？」

こう思うでしょう。

それはなぜか？

「実は結果を出せる勉強法なんてそんな数はないから」

私が結果を出した勉強法は有名な達人たちとは少し違います。
ですが、根本となっているところは全て同じなんです。

「読み書きができないと会話はできるようにならない」

この法則に従って私の生活環境を考えて勉強法を組み立てたのです。

そしてメニューも組みますから当然彼らとは違ったものになるんですね。
英語でやるべきことは誰にでも同じです。

「文法、リーディング、ライティングを固めてから会話の練習に移行する」

達人はみなこれを実践しました。

私が結果を出すためのメニューの組み立てを考えて実践しただけです。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

プロの格闘家を例にするとわかりやすいでしょう。

彼らがやっていることは練習方法は表面的に違うように見えますが
試合に勝つためにやってる主に必要なことは結局

・パワーアップのため筋トレ
・体力作り
・技の練習
・試合形式のスパーリング

大体この４つは誰でもやってることです。

選手それぞれで量や時間、やり方などに少し違いはあるけれど
結局やってることは同じなんですね。

彼らが「筋トレやりたくない」、「体力づくりしたくない」、
「技の練習は私に合わない」などと言っていたら
試合に勝てるでしょうか？？？

もちろん負けるに決まってますよね。

英語もこれと同じでできるようになりたいなら、
やるべきことをやるだけなんですね。

「文法は勉強が苦手な性格で嫌いだからやらない」
「リーディングは活字を読みたくないからやりたくない」
「ライティングは書くのは苦手だからやりたくない」

と逃げ回っていてはいつまでたっても憧れの会話は身につきません。

ほしいものを手に入れるためにやるべきことは
どの道やらなければいけない。

どうせ必要ならやってしまえばいいだけです。

「合う合わない」とか「個性だ性格だ」という
練習にいちいち文句を言っている「評論家」の勝手な都合は
英語習得という事実は聞いてくれません。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

だから身につきません。

そんなものがあるんだったら、
今頃日本国民みんな英語できるはずです。

要はやるべきことをやるだけなんです。
それも理にかなった勉強で。

理にかなった勉強法はあなたの個性や性格で
合う合わないと批評をすること自体おかしな話です。

無関係なことです。

「文法、リーディング、ライティングを固めてから会話の練習に移行する」

これは会話をできるようになりたい、どんな人にでも当てはまる法則です。
これを守らずして英語マスターはありません。

私が長年かけて研究して習得した方法は
「達人たちとやってることがたいして変わらなかった」
ということが分かりました。

やるべきことは誰でも同じなんですね。

巷に英語の学習法の本がゴマンと転がってますが、
役に立ったのはこの法則に従った方法だけでした。

最終的に行き着くところは同じだったということなんです。

「１００人いたら１００通りの勉強法がある」というのは
ウソなんですね。

騙されてはいけませんよ。

達人たちがやってきた勉強法も
あなたがやる勉強法もそんなに違いはないんです。

理にかなった勉強法でやるだけなんです。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

もしあなたが今まで結果が出ない挫折続きなら、これを見ておいてください。

↓↓

1232人の失敗を元に導き出した英語の成功法則

なぜ会話のレッスンや授業をしても話せないのか?

「会話ができるようになりたい！」

こう思って英語を始める人がほとんどです。

「英語がしゃべれるようになりたい！」
と思って、スクール行くなり留学なりしてます。

でも、しゃべれるようになりたいからって
しゃべる練習しに行っても効果がないんです。

なんででしょう？

しゃべれる能力は

「読める量≧書ける量≧話せる量」

という法則があることを話しましたよ？

読めない書けない表現は口から出てこないってことです。

もうちょっと分かりやすく言うと、

「知らんもんは口から出てこん」

ってことなんです。

これが英会話スクールや留学してしゃべる授業に
放り込まれても効果がない理由なんです。

Copyright 2011© Zilchmarvelous All Rights Reserved.

そりゃそうですよね。

「知らんもんを口に出せ」と言われてもできませんよね。

プロのサッカーの試合でサッカーしたことない素人に勝負どころで
「フリーキック決めてこい」 と言うぐらい無謀なんです。

できるわけがない・・・

サッカーでも知らんことをやれって言われてもできっこないですよね。

これと同じなんです。

ということは、しゃべれるようになりたいとしたら？

それは効果的な読み書きの勉強法を知るってことが必要になるんですね。

これさえ知れば話せるようになるまで最短でブッチぎれます。

周りの人に
「どうしてしゃべれるようになったの～？」
そんなふうに質問責めに遭います。

「英語で人生を楽しいものにしたい！」
「英語で人生を変えてみたい！」
「憧れの海外に行ける英語の力がほしい！」

そう思っているなら今しかありません。
今すぐ行動してそれを叶えてください。

今すぐ目標を叶えたいなら
英語ができるかどうか迷ってるヒマなんてないですよ。

人生一度きり、できるできないでなく
「やるかやらないか」
英語はやったモン勝ちですよ！

Copyright 2011© Zilchmarvelous All Rights Reserved.

具体的な勉強方法を知る前に、知っておくべき大切なこと

これは今から英語を始める初心者の人に一番知ってほしいことです。

具体的な勉強法を知る前にやっておくことが
実はすご～く大事なんです。

その知っておくべきことって？

それは

「あなたが今まで何となく聞いてきた英語の情報を忘れること」

なんです。

なんじゃそりゃ！？

そんな声が聞こえてきそうですが、
これって実はこういうことなんです。

きっとあなたがなんとなく
「そういうもんか～」と聞いてきた情報の中には
間違った情報が含まれていると思います。

もっともらしく聞こえるけど、
実はウソだったという情報ですね。

その間違った情報を信じていると
効果のある勉強法を学ぼうとしても
その間違った物差しを基準にして考えてしまいます。

そうすると正しい情報が吸収できなくなっちゃうんですね。
そこでちょっと今まで仕入れた情報は忘れてください。

きちんと 「英語を身につくってどういうことか」というのを改めて知る必要があります。
それができないと英語を身につけるのは難しいんです。

Copyright 2011© Zilchmarvelous All Rights Reserved.

英語の勉強法の究極の目的を知る

英語で一番大切なものとは何でしょうか?

ちょっとだけ考えてください。

・・・
・・・
・・・

思い浮かびましたか？？？

多くの人に個別で質問したときに
「会話できること」と答えます。

実はそんなものじゃありません。

一番大切なものというのは

「自分で英語を吸収し、応用できる力です」

誰かに教えられなくても、どんどん吸収できる能力です。
そしてこれは誰にでも身につけられるものです。

正しい知識と練習法を身につければ、年齢に関係なく可能です。

私が以前プライベートレッスンで教えていた６５歳の男性がいました。
彼は年齢に関係なく、覚えるのが早かったのです。

その理由は「自分で英語を吸収し、応用できる力」をつけていたからです。
使いながら定着させていく彼は記憶力に頼っていません。

だから、うまくなっていったのです。

どんな分野で英語を使うにしても
この能力は**『究極の力』**だと思ってます。

自分で吸収して使えれば、上達も早くなります。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

英語の勉強へのこんな誤解した認識

「英語の勉強＝上達する」

世間の常識としてはこれは当然なことです。

しかし、結果を出せる英語の勉強法とは
この常識とは違うものです。

英語の勉強法はこなせば結果としては上達しますが、
それそのものが目的ではありません。

**『英語の勉強法の全ては自分で学び、自分で応用して、使える練習を
自分でできるようにすること、この１点が目的です』**

これこそが英語勉強法の究極の意味です。

これによって結果的に上達するし、
その速度も上がっていきます。

つまり、英語の勉強法とはこれを手に入れるためにこなすメニューなわけです。

直接の上達を実感できることとは違うようなことをしても、
結果として最後には上達できる流れを作っています。

「英語の勉強＝上達する」

この感覚のままでは、「勉強をこなした＝すぐ上達」と考えてしまい、
実感がわかないとイライラして挫折します。

英語の勉強法には狙いがあること。

これを理解した上で英語の勉強法を知り、
それを実践する。

これが結果として、上達を最短距離にしてくれます。

このことを意識して英語の勉強法を学ぶようにしましょう。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

机に向かう勉強って意味ない？

机に向かうばかりが勉強じゃないと言う人たちが増えてますが、
それは机に向かう勉強が重要じゃないということではありません。

ここを履き違えてる人がよくいます。

机に向かう勉強があってこそ、そうでない勉強が生きてくるのです。

決して軽視しないでください。

机に向かって勉強することもちゃんと意味があるのです。

机でじっくり腰をすえてやることは
自分に分かるもの、分からないものをきちんと確認して
理解できるようになるためには必要なことです。

「机に向かう勉強 VS ながら勉強」
で議論する人がいますが、 無意味です。

どっちも使い分けてやらなければ効果がありません。
２つで一つなのです。

Copyright 2011© Zilchmarvelous All Rights Reserved.

留学での勉強法と日本にいての勉強法は違う？

「留学での勉強法ってどうしたらいいんですか？」
こんな質問を何百回受けたことかわかりません。

留学での勉強法というものが特別にあるのでしょうか？
それはないんです。

「え？なんで？」

実は日本にいても留学していても
基本的に勉強の仕方は同じものです。

私は英語はスポーツの練習法に似ているといつも言ってきました。

スポーツの選手が海外のメジャーに移籍したら
特別に練習法を変える必要があるのでしょうか？

実際やってることはほぼ同じではないでしょうか？

イチロー選手は日本にいるころから試合前に打撃練習してますよね？
普通に日本でやってたことを海外でもやってるだけなんです。

英語も実は同じようなもので、
洋本を読むなり、書いたり、表現の練習をしたり・・・
基本的には日本でやってることは同じでいいんです。

一つだけ違うのは、海外は英語を使う環境なので
日常が試合のようなものです。

いつでも英語を使う環境があるという部分だけ違います。
いつも試合ができる感じですね。
これが留学したときの感じです。

ということは、 勉強法にそんな違いはないとわかったら、
迷うことなくその勉強法を実践すればいいんですね。

留学しても日本でも通用する勉強法にはコツがあります。
そのコツをしっかりつかむことが大切です。

Copyright 2011© Zilchmarvelous All Rights Reserved.

一つだけ注意してください！

勉強法のコツがわからないまま英語を始めると
上達しないサイクルに陥ってしまうことがよくあります。

うまくならないサイクルにはまりたくない人は
今すぐこのサイトをチェックしておいてください。

http://www.eigo-topgun.net/

日本人が英語をできないのは恥ずかしがり屋だから？

めちゃくちゃムカついた話をしようと思います。

「日本人が英語をできないのは恥ずかしがり屋だからです」

こんなことを平然という英語ネイティヴの先生が非常に多いんです。

実際に会ったことのある小中学校の先生やってる人たちです。

３～５年ぐらい日本にいます。

「間違いをおそれるな」
「恥ずかしがらずにドンドンしゃべること」

と我々日本人をけしかけます。

でも、日本人が英語をしゃべれないのは恥ずかしがり屋だからじゃないんです。

本当は

「単純に言いたいことの表現を知らないだけ」

ということがよくあります。

そういう私もとても恥ずかしがり屋です。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

人前でなんかやれって言われると心拍数が上がります。
人前に立つとパニック起こします。

そんな私でも英語ができるようになったということは、
恥ずかしがり屋だから英語ができないということはおかしいですよね？

どういうことでしょうか？

実はこういう

「恥ずかしがらずに話せ」
「間違えをおそれずに話せ」

こういう人に限って日本語が全然できないんです。

日本語の会話になると置物のように黙っちゃうんですよ。

一言も日本語しゃべりません。
日本語ができないくせにこういうこと言ってるんです。

「だったら、恥ずかしがらずに日本語しゃべって覚えろよ！」

って言いたくなりません？

それってすごく余計なお世話な気がします。
何もわかっていないのに、ほんとにムカつきました。

まあ、こういう人たちの発言の背景には
近年の「外国語としての英語教授法」の影響によるものがあります。

中学高校６年間で英語をやってきたから
英語の知識は十分だという考えが根底にあります。

論理的で筋が通ってそうに聞こえます。

しかし、実際は日本人は思ってるほど英語の知識はないんです。

なぜなら、学校の先生が持ってないからです。
持ってないものは教えることができません。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

それで中高６年間英語を習っても
たいして英語ができるようにならないんです。

これが「外国語としての英語教授法」の落とし穴です。

つまり、あなたが恥ずかしがり屋だということは
英語がうまくなるかどうかにはあんまり関係ありません。

そう、あなたが恥ずかしがり屋だとしても
英語はできるようになるということです。

方法さえきちんとしていれば
英語はしゃべれるようになるんです。

大事なのは「方法」なんです。
きちんとした方法さえ知っていれば
恥ずかしがり屋であることは問題ではありません。

英語はしっかりとした方法で行えば、
誰でもできるようになります。

もう恥ずかしがり屋だからというのが
英語ができない理由であることはわかってもらえましたか？

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

凡人が早く英語がしゃべれるようになるためには・・・

なぜ純正日本人で、英語が得意だったわけでもない私が
なぜこうも短期間でうまくなれたのか？

それはやるべき範囲を決めたからなんです。

日常会話をしゃべれるようになりたいからといって、
会話集を覚えようとすると膨大な数に圧倒されます。

自分ってこんなにできないんだ・・・と自信をなくします。

日常会話ってすごく膨大で範囲が広すぎるんです。
いきなりやろうとすると凹みます。

こんな量覚えきれねえ！ってなっちゃいます。

そこで私が取った方法は
「自分のよく知ってる得意分野や好きなことで英語で表現してみること」
これをまず実行しました。

自分の得意な分野や好きなことだから知識はあるし、
説明の仕方も考えやすいからです。

英語でそれをしゃべるには必要な表現をちょこちょこ取り入れれば
あっという間にできちゃうんですね。

そうやって得意なこと、好きなことから攻めて
英語の作りや文に慣れてから日常会話の部分を攻略すると
簡単に思えちゃうんです。

その秘密は

「得意な分野、好きなことで英語にしっかり慣れているから、応用力がつく」

ということなんです。

英語が得意とか達人とか言われてる人でも
全ての分野や場面で使える英語を知っているわけではないんです。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

外国人のお相撲さんなんかいい例ですね。
相撲は得意どころか仕事ですから知識は問題ありませんよね。

彼らは相撲のことの質問は大体決まってるので、
聞かれることが予想できるそうです。

それにあわせて日本語の答え方を勉強するようです。
そこから日本語のコツをつかむらしいんです。

最初から広い範囲をやるのではなく、範囲を得意なこと、好きなことに
絞ってみると効率がいいんです。

私の場合は、車の話題でいろいろ覚えてみました。

かなり効果的でしたね。
そう、あなたがもし英語をしゃべれる最短距離を走りたいなら
自分の得意分野の英語をしゃべれるようにしてみてください。

自分に自信が持てますよ？

自信をつけたら他の分野もチャレンジしてみください。
これ、ぜひ試してみてください。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

英語がペラペラになるならネイティヴスピーカーと話をしなければならない？

「英語がペラペラになるならネイティヴスピーカーと話をしなければならない」
多くの人がこれを信じています。

これははっきり言って、『ウソ』です。

スピーキングがうまくなるのに人はいりません。

人と話さなきゃうまくならないと考えているから
いつまで経っても上達しなかった人がとても多いのです。

その原因も全部「ネイティヴスピーカーと話さなきゃいけない」という
風潮を作った英会話業界のせいです。

スピーキングがうまくなるコツはどれだけ頭の中で場面を想定してイメージにし、
口に出して練習したかで決まるからです。

その練習なしにネイティヴといくら会話をしようとしても無駄です。

英語の原則
「ないもの、知らないもの、練習してなくてなじみのないものは口から出てこない」

だから、ネイティヴと話をしても出てこないのです。

つまりネイティヴと話すことばかりにこだわらなくても
英語は話せるようになるのです。

最終的な練習の成果がわかるのが彼らに対して使うときです。

Copyright 2011© Zilchmarvelous All Rights Reserved.

英語回路を作るまでに大切なこととは？

英語回路、つまり日本語で英語を考えることなく
英語を使えるようになるには大切なことがあります。

それは

「一気に時間をかけて勉強すること」

仕事をしていたり、主婦の人は家事や育児などがあると
なかなか時間が取れないかもしれません。

そこでまずあなたには

「いつもやっている仕事（家事や育児）はもっと効率化できないか？」

と考えてほしいのです。

私は2006年の７月末まで会社員をしていました。
毎日片道１時間３０分かけて通勤しました。

残業をして帰るとだいたい夜１１時か１２時になることはザラにありました。

私はどうしても勉強がしたかったので、普段やっている仕事の仕方を
もっと効率的にできないかと考えました。

そして考えて、実践したところ
夜８時か９時には家に帰れるようになりました。

そう、普段から行っていることも冷静に見ると
無駄が多かったり、効率的な仕事をしていないことがわかりました。

普段の自分のやり方をもう一度見つめ直すと、意外な恩恵があるんですね。

とにかく英語は最初の慣れるまでは
たっぷり時間をかけて一気にやったほうが
上達はすごく早いんです。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

慣れるまでにどうしても時間がかかるので
毎日３０分ぐらいだと、どうしても長い期間がかかります。

英語回路ができてくるとちょっとしか勉強しなくてもうまくなります。

ただ、そこまで持っていくのに必要な知識を
吸収しないといけないので時間がかかるんです。

最初に時間をかけてやる理由はこういうことなんです。

そこでたくさんの時間を確保するためにも自分の仕事のこなし方を
もう一度見直してみてください。

そういう時間を確保する努力は絶対必要です。
やればきっといい方向に進むと思います。

いつも英語を勉強したくても時間がないと思っていたら、
ぜひ実践してください。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

留学する前に知っておくべきこととは？

９月は４月に並んで留学渡航者の数がすごく増える時期です。
いや～、ほんと多いですよ。

あなたのまわりにも
友達とか、親戚の人だとか、ひょっとしたら兄弟、姉妹にも
いるかも知れませんね。

留学渡航者の数は年々増えています。
私が豪州に行った４年前よりもっと増えてるそうです。

でもね、 残念なことに英語をマスターして帰ってくる人はやっぱり少ない。

本当に英語が使えるようになって帰ってくる人は
１割いるかいないかです。

今まであった中で９割の失敗する人はどういう人でしょう？
成功した１割の人はどういう人でしょう？

その疑問を解決する無料レポートを作りました。

http://bonjinsaikyoueigo.com/freereport/special1report.pdf

URLにカーソルを合わせて右クリックし、出てきたメニューから
［対象をファイルに保存］を選んでください。

※ なお、無料レポートはPDFファイルとなっており、閲覧には
Adobe Acrobat Readerが必要です。

お持ちでない方は、Adobe社のホームページより入手し、インストール
してください（無料です）。

http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html

ぜひ読んでくださいね。

Copyright 2011© Zilchmarvelous All Rights Reserved.

行動するためにはどうするか？

とあるセミナーに参加してきたときの話です。

ゲストスピーカーは タリーズコーヒーを日本で出店させた会社のイケメン社長さん。
もう一人はセールス世界2位の実績を持っている女性社長さん。

この二人が会社を起こすときいろいろ考えたかというと
実はあんまり考えてなかったそうです。

やりたい理由もよくわからないまま起業して会社作ったそうです。

タリーズコーヒー日本1号店を出した社長さんは
コーヒー嫌いだったのがタリーズコーヒーを初めて飲んで、
そのうまさに感動したそうです。

そして考えるまでもなく、その店の店長に話をして
社長に会わせてくれとお願いしたそうです。

そしてあれこれ考えずにやってるうちに
やりたい理由がわかったそうです。

セールス世界2位の女性社長さん。
会社を作って食べていくために、やると決めた仕事は
やるやらない理由なんて考えずに始めたそうです。

そして司会者が

「二人が行動を起こす秘訣は何ですか？」

と聞くと、二人とも

「やる理由をあれこれ考えない」

「考えるとできない理由をあれこれ探してしまうから」

だそうです。

今やることに理由はいらない。そういうことなんです。

Copyright 2011© Zilchmarvelous All Rights Reserved.

英語も実はただやってみるだけなんです。

私はこの二人の社長さんみたいな大胆なことはしませんが、
英語の勉強のときにこの秘訣を応用します。

英語の勉強を毎日してるとどうしても
やりたくない日や気分が乗らない日があります。

そんなとき考えると頭はどうしても
やらないでサボる理由をあれこれ考え出すんです。

人間は元々怠ける生き物なので、どうしてもそうなります。

だから、勉強するときは理由は考えないようにしてます。

考えなければサボる理由は出てきませんから、やらざるおえません。

これを今日から日々の英語の勉強に使ってみてください。

サボりそうになったら
いろいろ考えないようにしましょう！

私の仕事上の先生がよく言ってます。
「人生やるかやらないか。理由なんてあとからわかればいい。」

今、英語をやりたい、さあ今勉強したいと思ったら
それに理由なんていらないんです。

簡単に目標を立てて期限を決めて、ただやってみるだけです。

今日行動すれば明日は変わります。
明日行動すれば明後日が変わります。

いつまでも理由を考えてばかりでは
スタートに立てません。

よし！今日からやってやろうと思ったら
今すぐ行動です。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

明日ではなく明後日でもなく、今です。

もしいますぐやってやろうと思ったら行動です！
すぐにこのサイトで勉強してください。

→　英語の勉強を始めたいなら今すぐクリック

繰り返しますが、
今日の行動が全てを変えるきっかけになります。

ためらって立ち止まっていると時間がどんどん過ぎます。

ためらう時間は無駄です。
いますぐ行動しませんか？

勉強してるけど英語が出てこないんだけど・・・その対策法って？

相談の中で一番多いことの一つです。

「思っていることをなかなかうまく出てこない」

原因は大きくわけて２つあります。

１つ目は「英語を出せるだけのインプット量が足りてない」
２つ目は「言おうとしてることを日本語から考えすぎている」

１は基礎から全くできていないので
文法などをしっかりやり直すことが肝心です。

ほとんどの方は２つ目の理由が多いんです。

この２つ目を解決することが上達の鍵です。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

日本語から考えすぎるというのは

例えば

「何か音がしたからキッチンに行ったんだ」

というようなことを言いたい場合、
これをそのまま日本語→英語に訳そうとすることです。

思いついた日本語をそのまま英語にしようとすると
とても時間がかかり、わけのわからない英文になってしまいがちです。

Something was heard because I went to the kitchen.

なんて英語を作ってしまいます。

Something was heard

文法的にはOKでしょうが、何か不自然です。

A because B

「AをしたのはBだから」という意味です。

これでは変ですよね。

これを解決するためにはどうするか？

まず思いついたままの日本語を英語にしようとしないこと。
発想をちょっとだけ変えてみるんです。

さっきの 「何か物音がしたからキッチンに行ったんだ」を英語にするなら、

何か物音がしたから
↓
物音を聞いたのは私
↓
私が何かの物音を聞いた

という切り替えをします。

Copyright 2011© Zilchmarvelous All Rights Reserved.

そうすると知っている単語でどう表現するかを考えます。

すると I heard some noise.
という自然な文ができます。

そして文を作ると
I heard some noise, so I went to the kitchen.
I went to the kitchen because I heard some noise.

このように出来上がるわけです。

簡単な文もできないなあと思ってる人は
日本語で思いついたことをそのまま英語にしようします。

発想を切り替えれば日本語に頼らずとも
どうすれば今もっている単語で表現できるかを考えることができます。

いろいろな文を使える人はこういう発想の切り替えをします。
言葉面をそのまま英語にするのは変な英訳の元です。

うまくなるためにはこの切り替えが必要です。

何かいいたいことが出てこないなあと思ったら
「発想の切り替え」です。

今日からぜひ実践してみてくださいね。

Copyright 2011© Zilchmarvelous All Rights Reserved.

凡人が英語の実力に差を出すポイントって？

英語で実力に差が出るポイントとはズバリ**読書量**なんです。

本を読んでる人は国語の試験に強い人が多いんです。

学生のころ（今学生の人も）昼休みに本ばかり読んでる人が
やたら国語でいい点取ってませんでしたか？

特に試験対策もしないのいい点取っちゃうんですね。

実はこれには理由があります。

本を読むと言葉の感覚がとても鍛えられるんです。
話し方がうまい人は例外なく読書家です。

これ英語にも当てはまります。

英語の達人は日本語でも英語でも本を読んでます。
好きなものを徹底して読み込むツワモノもいます。

彼らのすごさの秘密は読書量に隠されてます。
読書量の多さがひいては会話の力も育てるというのが

私の経験とリサーチでわかりました。

達人たちの考えの裏にあるのは
「我々大人は耳から聞く英語の音だけで語感を養うことはもうできない」
ということです。

音からはできないかわりに語感を鍛える方法は
読書つまり文字を読むことで補うわけです。

読書は考えながら、文字を確認しながら構造を分析したりできるものです。

自然吸収できない大人が考えながら、英語を確かめていけるので
語感を養うことができるのです。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

英会話だけに走る人がいつまでやっても英語ができないのは
読書で英語の語感を鍛えていないから

使いこなすに至らないということなんです。
つまり英語の感覚を鍛える絶好のツールは洋書なんです。

ここが大きな実力の源になります。

ここが凡人が勝つポイントです。
読む本はあなたが好きで得意分野、特に実用書がお勧めです。

最近の本はわかりやすくて
会話口調になってるので、会話の表現の参考にもなります。

今日から一冊読んでみてください。

英語の勉強の組み立て方がわからない

「英語の勉強の組み立て方がわかりません」

こんな相談をいっぱい受けたことがあります。

英語にはやることがたくさんあります。
文法、リーディング、リスニング、発音、ライティング・・・
これらをすべて一日のわずかな勉強時間に組み込むのは

正直難しいですよね。
仮に一日2～3時間の中にこれらを全部組み込んでも
たいしたそれぞれの勉強効果は低いし、持続するのも大変です。

そこで、私が取った方法は
「２つを1セットにして月単位で集中して勉強する」
時間に余裕が無ければこの方法が一番です。

例えば、初心者の方なら文法は発音とセットにする。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

時間配分は文法：発音＝８：２でする。

文法をやるべき段階の人なら、
読み方のわからない単語やあいまいな発音をしているところがあります。

そこを文の作り方を学ぶと同時に矯正するわけです。

初心者から中級者の方はまずこのようにして
2つを1セットにして勉強を組み立てると効果的です。

他にはリーディングとライティングをセットにする方法も効果的です。

本などからいい文章の書き方をリーディングで取り入れて、
ライティングで実践する。

時間配分はリーディング：ライティング＝３：７でする。

これをお勧めする理由はいろいろ一度にやるよりは
関連する項目を２つに絞ってセットで集中する方が断然上達が早いからです。

勉強の組み立て方がわからなくなったら、
こんな風に組み立ててみてください。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

教材は役に立つかないじゃない。教材をどう使うがカギだ。

紀伊国屋など大型書店にはフロアいっぱいに英語の勉強本がありますよね。

でも、どうしてあれだけの本が置いてあるのに
日本人は英語のできる人が少ないのでしょうか？

私はいろいろリサーチをしてみたのですが、
英語学習者の考え方にどうやら原因があるようです。

英語ができるようになる人、できるようにならない人の差は
教材をどう使うかを考えているかいないかです。

言い換えれば、教材の使い方に意識があるかないかです。

例えば、英語ができるようになる人の考え方は

「この教材を今の勉強にどう組み込めるだろうか？」
「この教材は文法の弱点を補うのにどう使えるか？」

など、具体的に勉強の組み込み方を考えます。

逆に英語ができるようにならない人の考え方は

「この教材は役に立つ？立たない？」
「この教材っていいの？」

というふうにしか考えません。

掲示板とかでこんな質問をよく見かけますよね？

「私はＴＯＥＩＣ〇〇〇点なのですが、私に役に立つ教材を教えてくれませんか？」
「リスニングのいい教材あったら、誰か教えてください」
「〇〇という教材は役に立ちますか？」

これらは全く意味のない質問です。
するだけ無駄な質問です。

こんな質問をされたら答えるのが難しくないですか？

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

さらに、英語ができるようにならない人はウソッぱちな

「聞き流すだけで英語ができるようになる」
「英語は勉強するな！」

など、

「こういうふうに英語ができるようになったらいいなあ」

という絶対に実現しない願望を刺激した教材で、お金をドブに捨てます。

さらに、そういものに英語のできない有名人が推薦を出しているものなら、
それを完全に鵜呑みにしてしまいます。

これを読んでくれているあなたはきっとわかってるはずですね？

英語は聞き流すだけでできるようにはならないし、
勉強しないでできるようにもならないってことです。

日本人だって、日本語を勉強してきたんですからね。

自然習得できない第二言語を聞き流したり、勉強しないで
できるようになるわけがありませんよね。

教材を選び方とその活用法をしっかりと知ることが
英語マスターへの近道なんです。

私はよくこんな質問をされます。

「佐藤さん、教材選びに困ってます。なんかいいの教えてください」
「佐藤さんの使ってた教材を教えてください。私もそれを使いたいです」

そうじゃないんです！

質問の仕方が違うんです。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

質問するなら

「佐藤さん、今、思ってることを文にするのが遅くて、口になかなか出てきません。
どういう練習をすればいいんでしょう？」

私「口に出てにくいなら、〇〇の力が弱いことが考えられます。心当たりありませんか？」

「あ、言われてみればそうです。じゃあ、〇〇を練習します。」

私「じゃあ、〇〇の力を強化するために、××のような教材を△▲のようにして使えませんか？」

「あ、そうですね。わかりました。やってみます。」

こんなふうに具体的に質問すれば答えが出てきます。

具体的に質問するためには、
「英語がどんなふうに身につくものか」を知る必要があります。

そしてその考え方を身につければ、あなたは英語マスターへグッと近くなります。

これがないといつまでも英会話教材を儲けさせるだけになります。

「英語がどんなふうに身につくものか」を知ってしまえば、
あなたの教材活用法が見えてくるはずです。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

中級レベルの落とし穴

中級レベルをどの程度かと言うならば、

・ちょっと時間をかければなんとか英語が話せる人
・思ったことがなかなかすぐに出てこないが、なんとか話せる人
・ネイティヴのスピードについていけないが、遅めならなんとか聞ける人。

こういう人たちがハマる落とし穴があります。

少しできるようになってくると
もっとリスニング、会話の練習をしようとします。

実際にそうして行き詰るんです。

どうしてでしょう？

覚えてますか？

英語の聞ける量・話せる量≦書ける量≦読める量

この法則でわかります。

多くの中級者の人は聞く練習、話す練習に力を入れていますが、
これでは上級者にはなれません。

「聞いてもわからない」
「ネイティヴのスピードについていけない」

もしあなたがこういう兆候に悩まされているなら

やるべきことは
「リーディングとライティングの強化」です。

もう一度文法からを鍛えなおしてください。

これには意味があります。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

もし何度聞いてもわからないなら
それを文章で読んで即座にわからないものである可能性が高いからです。

なかなか文を組み立てるのに時間がかかって口に出てこない、
そういうものは即座に書くことができない可能性が高いです。

このような兆候がでたら、
基本から鍛え直すべきです。

スポーツ選手が大きな技を覚える前に
それに耐えられる体力作り、筋力作りをしますよね。

これと同じで英語も上級に上るためには
体力・筋力が必要になります。

聞ける量・話せる量の増やすには
この基本トレーニングが必要です。

これは上級者でもさらに上を目指すときには
もう一度読み書きから鍛えなおします。

そうすることでさらに上の「聞ける力・話せる力」がつくのです。

中級者の人は自分を過信してしまう傾向があります。

「今までの私の勉強法は間違ってなかった」と言い張る人もいます。

それで聞く耳を持たないで上達しない人もいます。

ぶっちゃけ言うと、 初心者から中級者には
少々ムチャクチャな勉強でもなれます。

しかし、中級者から上級者になるためにはそうはいきません。

文法から鍛え直し、リーディング・ライティングを強化する必要があります。

筋力も体力もないのに大技はできませんよね。

スポーツマンＮＯ１決定戦のモンスターボックスじゃないですが、
あの２０段を飛ぶために跳び箱の練習だけして飛べるでしょうか？

Copyright 2011© Zilchmarvelous All Rights Reserved.

筋力・体力のない人には無理ですよね。

高く飛べるだけの筋力、そしてそれを支える体力がないと到底クリアできません。

上級レベルのモンスターボックスを飛ぶには
体力・筋力から作り直さなくてはいけません。

ちょっとできるようになったからと
自分の力を過信しちゃいけないということです。

聞けるスピードは読めるスピードに比例します。
話せるスピードは書けるスピードに比例します。

読むスピードが早い人はスピードが早くても聞けます。
書けるスピードが早い人は話せるスピードも早くなります。
　読んですぐにわからないものは耳で聞いてもわかりません。

すぐに書くことのできないものは、とっさに口に出ません。

これが英語の真実です。

確立された読み書きの力の上に
本当の話せる力・聞ける力がつきます。

中級者の人で伸び悩んでいる人はもう一度、
文法から鍛えなおしてください。

そして読める量と書ける量を増やし、
そのスピードをアップさせてください。

そこから突破口が見えてきます。

突破口のヒントを知りたいならコチラ

→ **英語上達の突破口を作る方法**

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

初心者は単語をたくさん覚えるべき？

初心者の方がよく悩むポイント
「単語の習得」についてお話します。

初心者の方でよく単語を闇雲に覚えようとする方がいますが、
これはしない方がいいでしょう。

使いなれない単語を増やしたところで
使えることはないとからです。

それよりも集中すべきは 「今知ってる単語を使いこなすこと」です。

英語が苦手だと言う人でも単語を一つも知らないなんてことは
ないと思います。

今やるべきことはなんとなく知ってる単語を
使いこなせるようになることです。

単語を増やすのはそれからでいいんです。

知っている単語を使いこなし、
コツをつかんでから単語は増やしましょう。

ただし、丸暗記はしないようにしてくださいね。
効率悪いので。

単語一つとっても英語の習得にはコツと知識が必要です。

そのコツと知識をしっかり知っていれば、
英語学習で迷うことは少なくなります。

Copyright 2011© Zilchmarvelous All Rights Reserved.

先に単語をたくさん覚えても読めない

「わからない単語があるから英文を読むのはあとにする」
という英語学習者がすごく多いんです。

もっともらしく聞こえはします。

しかし、単語や熟語をたくさん覚えても
英語は読めるようにはならないんです。

単語の意味だけは英文は読めないんです。

大事なのは「読解力」です。
読むことになれるために大量に読むことが必要です。

「わからない単語があるけど、どうするの？」

大丈夫です。

本１冊に書いてある一語一句すべてわかる人はネイティヴでもいません。

わからないところは前後の文脈や話の流れで推測すればいいんです。

間違ってもいんですよ。
練習なんですから。

それに単語は読みながら覚えたほうがいいです。

「あ、そういえばこの単語、あの本に書いてあったな」

と記憶にも残りやすいからです。

つまり、単語は英文を読みながら覚えるのが近道なんです。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

辞書はお金をケチらないようにしよう

辞書は毎年改編されています。
言葉は生ものなのでどんどん変わっていきます。

5年以上、10年以上の前の辞書を今だに使っている人もいますが、
どうせなら買い換えた方がいいでしょう。

5年前と今ではずいぶん追加された言葉もあるので
同じ辞書でも中身が違う場合があります。

もちろん変わらない言葉もありますが、
それぱっかりでは新しい言葉を調べられなくなります。

辞書は2～3年置きに買い換えておくつもりでいましょう。
私は毎年買い替えしていたときもありました。

同じロングマンでも追加されたものがありましたね。
辞書は定期的に買い替えしてみましょう。

私は電子辞書より、なるべく紙の辞書をお勧めしてます。
どんどん書き込んでよごして覚えていくのには紙の方が適しているからです。

買い替え時はちょっと高いですけど、損はありませんよ。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

基礎基礎というけど、何をすればいい？

英語は基礎力が大事です。
基礎基礎というけど、何をすればいいのでしょう？

それは文法です。

知ってるだけの規則を使えるレベルに昇華することです。
これなくしてさまざまな文を作り出せることはありません。

それは書くだけでなく、会話も同じです。

ライティング・・・文を作って文字にする
会話・・・文を作って音にする

違いはこれだけです。

だから、文法が大事なんですよ。

でも、多くに人は文法は重要でないと思ってます。

だから、いつまでたっても“英会話”に踊らされて
お金をむしり取られてます。

今、あなたはこんなことで悩んでいませんか？

・英語の勉強しているけど一向にうまくならない
・英語をやりたいけど、何をすればいいかわからない
・どんな教材がいいのかわからない

違いますか？

ここであなたの悩みを解決できるように情報を集めておきました。

→http://www.eigo-topgun.net/

時間のあるときにでも見てください。

Copyright 2011© Zilchmarvelous All Rights Reserved.

英語の上達の度合い

今日は上達の度合いについて話をします。
英語は知識ではなく、技術です。

技術の習得には時間がかかります。

最近の日本人の傾向ですが、
楽して大目標を達成しようとする傾向にあります。

１日１５分乗るだけでー５キロとか。
そういう考えは英語には通用しません。

上達の度合いというものは
その人の上達した希望の強さと練習量にかかっています。

今も昔も上達したいレベルと練習量が伴わない人が多いのです。

例えば、プロのサッカー選手になりたいという人が

「プロになりたいけど、全体練習の後に個人練習はしたくない」

なんて言っているとしたらどう思いますか？

「こいつ絶対無理だな」

と思いませんか？

英語も同じです。

スポーツに例えられるのは
その技術の習得の過程が似ているからなんですね。

うまくなるためには
「努力する時間や量を最初は制限しないこと」
がカギです。

どんな練習でも勉強でもやるつもりの人の方がうまくなってます。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

「うまくなりたいけど、そこまで努力はしたくない」

なんて考えてるうちは努力＝苦しいものになります。

努力に制限をつけなければ、それは楽しいものになりますよ。

だって、それは英語マスターを叶えるための努力ですからね。

これウソっぽいけど本当です。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

職人さんから学ぶ英語のマスターの成功法則

ここでは

「職人さんに学ぶ！ 結果を出す人 ＶＳ 自分に合った方法にこだわって結果を出せない人」

についてお話します。

英語をマスターしたいという方にたくさん出会いました。

英語を使えるようになりたい目的は人それぞれです。
あなたもやる以上は「できるようになった」という結果が欲しいでしょう。

私は２２歳のときから、英語をできるようになりたいと願う人に
１０００人を超える人に出会ってきました。

その中で結果の出せる人と出せない人が
きれいに分かれることに気づきました。

私が見てきた中で結果を出せる人は

「スキルを習得することが最優先。方法にこだわわない」
「必要なことは何でもする」
「自分がしたい方法、自分のペースを考えることはしない」

大体この３つを意識している人です。
彼らは一言で言えば、**「結果最優先の思考」**をしています。

一方、いつまでも結果が出ない人は

「自分に合った方法、ペースから先に考える」
「やる必要があってもやりたくないことはやらない」
「結果を出すことより、自分のしたい方法、ペースが先」

英語習得の事実より自分の都合優先の考え方です。

英語で結果を出すためには、自分の都合など二の次です。

英語習得の事実に従い、行動する人が結果を出してます。

Copyright 2011© Zilchmarvelous All Rights Reserved.

英語も職人さんの技術習得の過程に似てます。
彼らといえども、最初から自分の方法やペースを体得していたわけではありません。

まずは師匠の教えをきちんとできるようになることに力を注いでます。

最初は技術を磨いて自分のものにすることに集中します。
そしてものにした技術を自分なりに応用し始める。
最後には自分流を作る。

これが職人さんの「守・破・離」というヤツです。
自分のペースや方法にこだわっていいのはベテランの力のある職人さんだけです。

力のないうちから自分の方法にこだわる人は力がつきません。
まずは英語ができるようになった人間の方法をそっくりそのまま真似することが近道です。

「自分のレシピ」を入れたがる人ほど結果を出してません。

はじめて、スキルを身がついて自分のものにしてから
自分のペースや方法にアレンジしていくやり方が一番近道です。

最初から自分優先で考えた人は結局は遠回りするのです。
私が５年間の時間を無駄にした原因はこれにあったのです。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

中学英語の文法だけでは不十分

ここ数年で「英語は中学英語の文法さえ知ってれば十分」なんていうものが
次々に出ています。

はっきり言って、不足です。

中学英語だけで英語の使いこなしの幅は増えるなんてことはありません。

少なすぎます。

中学で習う分はやさしいから、それを使ってしゃべれば
それなりにしゃべれているような気分にはなれます。

現実的に考えて、足りなすぎです。

中学だけで習う程度のもので、
現実世界の会話に対処するなんて無謀です。

それ以上のことを使っているからです。

最近の傾向もそうですが、
簡単で結果を早く手に入れましょう的な教材が多すぎます。

作っている業者も「簡単で即効性がないと売れない」と思っているし、
ほしがる人間もそういう人ばかりです。

簡単で楽なだけの都合のよさげな情報で
本当に結果出している人は増えていますか？

全然増えてません。

中学英語で十分とか言いながら
結果を何一つ出していない人間が私の周りにもいます。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

2009年の甲子園の決勝は伝説と呼ばれるほど、
盛り上がっていました。

９回２アウトから６点差を１点差まで縮める大反撃で
あわや勝利をつかむ寸前だった日本文理ナイン。

彼らは県大会では打てても、春の大会で全国では打てないことを痛感したので、
打力を付ける必要があると感じたのです。

勝つために毎日腹筋と背筋を１０００回メニューにしたという
エピソードがあります。

ニーズに媚びた情報風に言うなら、
１日３０回の腹筋と背筋で甲子園決勝まで進む方法なんてものを
言う人間がいたら信じますか？

「ありえねー！アホか！」

と言うはずです。

そんな程度なら甲子園に出るどころか、地方大会の予選１回戦すら勝てません。

それなら、なぜ中学英語であたかも劇的結果が出るなんてものを
信じられる根拠があるでしょうか？

中学英語も使えないのはダメですが、
それ以上のことをしなければ本当の力は手に入りません。

よく考えればすぐにわかることですが、
英語になると気付かないで自分の耳にいいものばかり追いかける人が減りません。

ネイティブが年齢分の時間をかけて、出来上がった英語に近いレベルで
使う能力に追いつくなら、それを短縮できるだけのことをする必要があります。

「神は細部に宿る」という言葉があります。

レベルアップしてる人は緻密にそして多く練習しています。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

よく考えてみれば当たり前です。

２５歳のネイティヴとちゃんと話せるようになるには、
２５年分の時間を短縮するだけの練習が必要です。

それを可能にする仕組みを脳に作り上げるのが
英語勉強法の真髄です。

英語は甲子園で勝つほどのハチャメチャな努力はいらないですが、
それでもちゃんとした努力は必要です。

どっかに近道はないか？
効率的で結果を劇的に出せる方法はないか？

こんなのはグズ病と同じです。

情熱もなく、結果ばかりを方法に頼って追い求めるから、
何も結果が出せない。

結果が出なければ方法が悪い。

自分にはできそうもない方法は「合わない」「できない」の言い訳で終わり。

そしてまた「都合のいい勉強法」を探してまた挫折を繰り返す。

英語に限らずこういう人が多いです。

やるべきことは変えられません。

英語は誰の都合も理想を聞かないからです。

この事実を性格がどうであれ、年齢がどうであれ、
自分に合うも何もありません。

合わせるのは自分だからです。

腹をくくってやるべきことに取り組めばできないことはありません。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

腹筋１０００回背筋１０００回より簡単です。

覚悟を決めないで方法を探すから結果を出せないものに
振り回されてフラストレーションがたまるわけです。

そしてますます苦手意識を強めてしまう。

負のスパイラルです。

こういうことに振り回されないようにしてください。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

書く英語と話す英語は大きな差があるか？

日本人の英語学習者は
書く英語と話す英語に分けることにこだわりを持っています。

「英会話」という言葉の発祥もこのこだわりを
敏感に察知したものであると見ています。

これまで英語に触れてきた経験から、
書く英語と話す英語に差はあるかと言えば
実はそれほど差はないということがわかりました。

多少発音されないもの

例：gonna wannaなど

も出てはきます。

活字で書かれている英語とそれほど差はないのです。

日本語でよく本を読む人はわかると思います。

本に書かれてある日本語（もちろん現代の本ですよ）と
我々が普段使う日本語を活字にしてみたとき
どのぐらいの差があるか？と注意深く見てました。

するとあまりないのことがよくわかります。
書き言葉では使うけど、話し言葉で使わないものを
探すのは至難でした。

どれも使えるものばかりです。
英語と言っても、会話ばかりに目を向けるのではなく、
書く英語にも目を向けることが大事です。

書かれた英語には話す英語のヒントがたくさんあります。

私自身の学習経験でもあまり書く英語、話す英語と意識し過ぎないようにしました。

Copyright 2011© Zilchmarvelous All Rights Reserved.

英語に触れてドンドン吸収していくと
結局は話せるようになるのが早かったのです。

話せるようになった最大の秘訣は実はここにあったのかもしれません。
そんな気がします。

参考にしてくださいね。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

第３章　英語の勉強を継続していくために必要なこと

目先の結果に一喜一憂しない

あなたの周りに仕事でもプライベートでも物事を
何も達成できない人っていませんか？

こういう人の共通点がものごとを大局的に見ていません。

多くの英語マスターをできない人は目先の結果に一喜一憂します。

勉強していてわかってくるとは

「文法はわかった！」

わからない単語が少ないときには

「単語はよくわかった！」

と喜んでいます。

逆の場合、 文法を勉強していてわからないことがあると

「自分には才能なんてなかったんだ」

と嘆きます。

わからない単語が頻繁にでてくると

「私にはどうせわかりっこない」

とすぐ落ち込みます。

こんな調子で一喜一憂してわからないことが出てくると
自分の都合のいいような言い訳で勉強時間を減らします。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

そしてすぐ方法を楽なものに変えようと逃げます。
（楽ばかりして英語を身につけた人は1人もいません）

そんな調子だからいつまでたっても
英語ができるようにはならないわけです。

ダイエットもそうですが、結果に一喜一憂して
方法をすぐコロコロ変える人は結果が出ません。

私は2006年の12月からダイエットをしてみました。
1週間で1，7キロ落ちましたが、 停滞期もありました。

食事制限と運動と筋トレを課していますが、
そのまま継続しています。

カロリー消費量が摂取量より上回っているので
続ければそのうち落ちるとわかっているので動じません。

結果を出す人は決めた方法でやりながら
うまくいくこともあればいかないこともあると最初から想定しています。

だから、ちょっとぐらいうまくいかないことがあっても動じないのです。

英語の勉強は目先の結果だけ見ていてはダメです。
1ヶ月、3ヶ月、6ヶ月、1年と長いスパンで見ることが不可欠です。

昨日たくさんできたのに今日できないことに遭遇しても
長い目で見れば上達しているのです。

長い目で見てやっても、やっていくうちに何かしらの問題は生じますが、
その時々で軌道修正したり、対策を取るようにすればいいのです。

こういうのは長い目で見ていないと見えませんので、
出くわしたときに対応を考えることで十分です。

今日のできたできなかったで
それを一喜一憂して勉強をやめたり減らしたりしてはいけないのです。

そこを考慮してやっていれば確実にうまくなっていくのです。

Copyright 2011© Zilchmarvelous All Rights Reserved.

どうして英語をやりたいのか明確にする

ある日女友達から電話がありました。

「佐藤ちゃん、アタシもさ、英語できるようになりたいんだよね。」

「どうして英語をやりたいの？」

と聞くと、

「何かさ、英語で何かやってみたいんだよね。」

私はこう聞きました。

「で、具体的に何をやりたいの？」

彼女はちょっとだけ考え込んで

「本当は留学とかワーホリとかも行ってみたいんだよね。 でも無理かな～？ 」
今のうちなら行けば英語なんとかなるかな～？」

と彼女は言いました。

私は正直に言いました。

「英語で何をしたいのか？さえ答えれないと勉強しても身につかないよ。」
「まして、今のまま留学してもたいして英語はできなるようにならないよ」

・英語は好きですか？
・英語で仕事をしてみたいですか？
・英語をマスターして今の自分より、少しでも成長したいと思いますか？
・英語でダントツになりたいですか？

そんなふうに思う熱い思いはありますか？

英語をやりたいだけは身につかないと言う理由があります。

「具体的な目的がないと何のために勉強をするのか理由がないから」
「理由がないがゆえに脳はやめさそうとする思考をさせる」

Copyright 2011© Zilchmarvelous All Rights Reserved.

具体的な使う目的もないことにエネルギーを注ぐことなどできないのが人です。

短期間ならやれるかもしれません。

ただ、続けていくためには

「今自分がやっていることはこのためで、今ここにいるんだ」

という明確な地図と行き方を持ってなければ、
迷子になるのは当たり前です。

具体的な目標を持って。今も着々と力をつけた方が出てきています。

その一方でこのアドバイスを聞かない人が
ちっとも上達していかないのも目にしてます。
それはとても残念なことです。

そういうこともあります。
あなたもしっかり英語の使い道までを具体的に考えて、
明確にしておいてください。

何のためにやってるんだろう？という思考が出てきても、
それを打ち破る理由になります。

何をしたいかもわからないまま、
ゴールもないまま始めるのは続かないのです。

挫折する人の９０％ぐらいは
ここが具体的でないまま始めてしまいます。

ゴールが見えないので、やる気がなくなりやめてしまいます。

結局、何のために英語の勉強をするのかがわからないので
動機付けしにくいということなんです。

具体的であればあるほど、勉強をどのくらいすればいいかが
わかるので、目先の結果に惑わされず継続できる気持ちになりやすいのです。

何のために英語をするのかは具体的にしましょう。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

勉強に対する苦手意識の正体

こんな質問が届きました。

「私は今まで勉強が苦手で勉強というものを避けてきましたが、
どうしても英語はできるようになりたいです。

こんな私でもできるようになりますか？」
ハイ、お答えします。

それは勉強することによる刺激に脳が慣れていないため
急にやろうとするとビックリしてやめさせようとするのです。

脳は今のあなたの快適な状態でいられる以上の
エネルギーを使わないようにあなたを制御しています。

今の状態は勉強までエネルギーを使わないようにしていると思います。
その制御をはずすことから始めます。

やり方は以下の通り。

最初は３０分程度から、
１～２週間かけて勉強することに慣れるようにしてみてください。
結果は気にしなくてＯＫです。

勉強といっても、とにかく何でもいいので英語をやるだけでＯＫ
急に１時間～２時間など長時間しないことがコツです。

それを１ヶ月行いましょう。

そうすれば勉強することが当たり前になってきます。

「英語の習うより慣れろ」はこういうところにあります。

まずは英語の刺激に脳を慣らしましょう。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

人との付き合いを考えましょう

ここでは「人との付き合いを考えましょう」が
テーマでお届けします。

もし、あなたがこれから英語を始めるなら
人との付き合い方を真剣に考えましょう。

もしあなたの邪魔をする人であれば
身近に置かないようにしてください。

今まで仲の良かった人でも
あなたが変わろうとするのを邪魔する人が出てくると思います。

上のレベルに行こうとすると邪魔をする人が必ず出てきます。

私の場合、一番の邪魔者は「母親」でした。

「英語なんていまさらやってど～するの？」
「ちゃんと安定した企業に・・・」

これが母親の口癖です。

だれが何と言おうと、私は母親の身近にいたくありません。
やる気がなくなり疲れます。

だから、実家に帰ることもありません。

やる気の出るようなリフレッシュはできそうもないので。

道徳心のある人なら「親をもっと大事にしなさい」と言われそうですが、
誰が何と言おうと一緒に暮らすのは苦痛以外の何でもないのです。

だから、離れて暮らしてます。

そして友達でも勉強の邪魔をする人が出てきます。

「勉強なんていつでもできんじゃん、遊びにいこう」
「無理無理。お前に英語なんてできっこねえよ」

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

こういう人が必ず出てくるでしょう。

残念でつらいことですが、
こう言う人との付き合いは今後は控えた方がいいでしょう。

エネルギーがなくなります。やる気がなくなります。

この手の人はあなたが変わるのがいやなだけなのです。
自分の身近な人が上に昇っていくのを見たくないし、
安心したいので足を引っ張ってきます。

しかも現状維持第一の人たちです。
私の母親がそうです。

だから、私は今でもこのような人たちは一切身近に置きません。

どうせ付き合うならエネルギーややる気をくれる人、
あなたを応援してくれる人と時間を過ごしましょう。

やる気をなくさせるような人との付き合うのは時間もお金も無駄です。
すこしドライですが、こうしないと自分自身の望んだ道を歩めなくて
フラストレーションのたまる人生になります。

例え、今まで仲が良かった友達でも、親兄弟でも
あなたのやる気に邪魔者になりうるなら、

付き合いを減らすぐらいの気持ちが必要なのです。
大丈夫、あなたが成長すればそれに見合う人との出会いも増えますから。

そうやって人は変化していきます。

そしてあなたが世の中の人にもっと貢献できる人になれるでしょう。

そうであれば、少しドライになっても何も悪いことではないのです。
あなたが伸びれば誰かの満足を作り出すことができるようになるのですから。

Copyright 2011© Zilchmarvelous All Rights Reserved.

ムカつくことに耳を傾ける

私は勉強のためにいろいろな本や情報商材を買いますが、
いいものと言うのはどちらかというと

「極端な感じでムカつくもの」

こういうのが結構いいものが多いですね。

私自身、自分の勉強法ノウハウの元を師匠から学んだときは、
極端すぎて腹が立ちました。

「なんだこりゃ、ふざけんじゃねえ！」

とムカっときました。

脳というのは実にやっかいなものでして、

「腹が立って気に入らない」
「ムカついた」

こんな感情に身を任せて、批判していればラクだからです。

こんな感じでもっともな理由をつけて、自分をうまく説得するのです。

実はそうやって多くの人がムカつくと思い、
目をそらすことほど近道が多いのです。

こういう本は学ぶことがたくさんあります
。
一見暴論じゃないかと思えるようなことの方が
もっともなことを言っても、怒って反論する人（いわゆる逆ギレというやつです）は目にしたり、耳にした事実が自分にとって不都合だったゆえに
腹を立てて、その事実を言った本人を攻撃します。

または何とかその不都合さを認めないでいいような理由を挙げる
行動を取るそうです。

Copyright 2011© Zilchmarvelous All Rights Reserved.

脳の研究をいろいろ調べてわかったことは

「怒りに身を任せて反論するときは
不都合な真実を認めたくない心理状態であることが多い」

そうです。

人間は事実であっても、受け入れると感情が不安定になるような
不都合であるものなら、怒りで反応してごまかして安定を保とうと働くのです。

もっともらしい論理を思いつきはしますが、
実は真実の的を得ていないことが多いようです。

私はあるときそれに気づき、
自分がムカッとするようなことを言う本を探しました。

私は自分がムカっとするようなことを書いてある本や情報商材が大好きです。
真実に近い場合がけっこうあります。

「ムカついた」
「腹が立った」

という理由だけで、物事を判断するとせっかくの学ぶチャンスもムダにします。

当たり障りのないことや、聞こえのいいものだけのものは
どうも結果に結びつかないことが多いですね。

「ムカついた」
「腹が立った」

これこそが多くの人から頭一つ抜け出すコツなのです。

Copyright 2011© Zilchmarvelous All Rights Reserved.

最初の一歩が踏み出せないんです

最初の一歩が踏み出せないんです・・・

こういう話をよく聞きます。

「忙しいから〇〇（時期）からはじめよう」

こう思ってるとその時期がきてもまた、
「今まだ忙しいから」と引き伸ばしてしまいます。

これは英語だけではなく「ジムに通う」「習い事を始める」とか
いろいろ他のことでもよくあります。

なぜこういう言い訳をしてしまうのかというと、
ほとんどの場合、意識の底では英語をやる必要性を感じていないから
という場合が多いのです。

本当に必要ならば、何が何でもやりますよね。

どうしても最初の一歩が踏み出せないときは、
もう一度「自分がなぜ英語が必要なのか？」を
考え直してみることをお勧めします。

こればかりは勉強方法をいくら知っても解決できないことです。

勉強法を知っても行動できませんからね。

「英語ができたらいいなあ」と漠然と考えているのでは
行動しようにも行動する理由がありませんね。

これではやらなくてもさほど後悔も生まれないでしょう。
もっと目的をしっかり把握し直すことをお勧めしてます。

勉強そのものに取り掛かるより、こちらを優先しておいた方が
後々続けられなくなることが少なくなります。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

最近忙しくて勉強しようにもできません

「最近忙して勉強しようにもできません。どうすればいいでしょうか？」

よくある質問ではあります。

こういう質問には

「5分でもできる〇〇からはじめましょう」

など、方法をアドバイスしても効果がないことがわかりました。

最近は脳の実態に興味を持ち始めていろいろ本をあさっているのですが、
気づいたことがあります。

こういう質問を投げかけている自分の状態が
本当は問題なのではないかと。

「忙しくてできない」

これを言い訳にして、今自分ができないことを納得している状態です。

この状態になるのは、英語の必要性をそれほど感じていないのではないか？
と思えます。

本当に必要だと思っている人は、何が何でもやります。

忙しいは障害になっていません。
では、どうして言い訳をしてしまうのでしょうか？

その秘密は実は脳にあったのです。

私は脳がどのようにあなたを言い訳をさせているかを
脳科学の研究から、言い訳のメカニズムがわかりました。

そのメカニズムを知ることが始めること、続けるための第一歩なのです。

Copyright 2011© Zilchmarvelous All Rights Reserved.

どうして英語の勉強を続けることができないのか？

脳科学の研究からいろいろ調べ上げて

「どうして英語の勉強を続けることができないのか」
「なぜ勉強しようとするけど、ウダウダしてやる気が出ないのか」

この理由をずっと探していました。

「自分はグータラだ」と言い訳してしまう自分、
「私にはできっこない」と言い訳してしまう自分、

それは全部ある脳のメカニズムがかかわっているのです。

そのメカニズムを知りさえすれば、これらの言い訳が浮かんできても
それは全部、あなたの本当の実力とは何の関係もありません。

多くの学習者の方がいまだにこのメカニズムを知らずに
振り回されて「続けられない、行動できない」ジレンマと戦っています。

そのメカニズムさえ知ってしまえば、
「できっこない」「グータラだから」ということは
言えなくなります。

そんな言い訳とさっさとおさらばしてみたいと思いませんか？
「自分にもできそうだ！」と思えるものを基準に選ぶのは間違いです

今、世の中にはいろいろ英語の勉強法が出ていますが、
「自分にもできそうだ！」と思えるものを基準に選ぶのは間違いです。

そういうものを基準に選んでも結局は挫折することが多いのです。

その証拠として「継続するための方法」を教えてくれる英語教材や
ノウハウがあまりにも少なく、高い代金を払っても結局挫折してしまうという
不利益を受ける方が増えているからなのです

こういう勉強法や教材をいくら探されたとしても
「継続するための方法」を適切に使わなければ、
結果が出るまで継続することなく挫折してしまうからです。

Copyright 2011© Zilchmarvelous All Rights Reserved.

継続できるようになる方法を知らない不利益の一例をお話しすると、

・一つ挫折するとまた違う「ラクラク」「カンタン」でできそうだと思えるものに大金をつぎこんでしまう

・どんな方法でも実践を継続できなくなり自信がなくなってしまう

・やる気はあるけど実行できず、気持ちだけ空回りをする

・本当に必要な勉強法を実行することができない

・自分にはできっこない！と言い訳ばかりになってしまう

・いつも決めた目標を達成できない不満だらけになる

・英語なんてできっこないんだとあきらめてしまう

・最後の手段として留学をしても挫折して、大金と時間だけ失い、失望し帰国する

実はこういった不利益をなくす一番の近道は
「勉強を継続できるようになる方法を知ること」です。

３００人ほどの挫折している方の共通点を調べたのですが、
「私に合った勉強法」「私でもできそうな勉強法」
ばかりを探している方が９５％以上を占めていました。

こういった方のほとんどが「継続できる方法」を知る前に、
勉強法を探すことから始めています。

一つ挫折すると次から次へと違う勉強法や教材に
変えてしまっていることがわかりました。

そのことから私は勉強法や教材を変えることは
何の解決にもならないことがわかったのです。

仕事で英語を使えるようになりたい、海外旅行やプライベートで
もっと英語を話せるようになりたい、
どちらにしても、勉強を継続しないとできるようにはなりせん。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

あなたは練習を続けずに、スポーツの試合で勝つことができますか？

もちろんできませんよね。

同じことです。英語は自分ができるようになるま勉強することです。

つまり、継続がカギです。

英語をマスターするためには、

「自分に合った勉強法」
「自分でもできそうな勉強法」

こういったものを探すのではなく、
すべての解決の糸口は

「勉強法」より先に「継続できるようになる方法」から知る

この必要性があるのです。

ところが実際、多くの英語を勉強している方は「継続」と聞くと
ものすごくストレスを感じるような考えをしてしまいます。

なかなか勉強を続けることができずに英語ができるようになる
という目標を達成できないでいます。

勉強したい気持ちはあっても、行動に移すことができないジレンマ・・・

しかし勉強を継続するのに、一番大切になるのは、
実は「才能や年齢、忍耐力、ガマン強さ」ではありません。

実は本当に必要なことは

「脳をうまく利用して継続しなければ落ち着かなくなる方法」

を駆使することだというのがわかりました。

Copyright 2011© Zilchmarvelous All Rights Reserved.

私はそこに気づいてから、ビジネスの勉強でもダイエットにしても、
どんな勉強や運動でも継続できるようになりました。

継続しないと落ちつかないような中毒気味になることさえあります。
やめてしまうことの方が難しくなりました。

このおかげで行動できないジレンマを感じなくて済むようになりました。

「英語の勉強続けることは『才能』や『年齢』、『忍耐力』、『ガマン強さ』、ではない」

私は、そこに気づいてからあっという間にたった１年の勉強でＴＯＥＩＣ８４０点を取り、
翻訳になることができました。

つまり脳の仕組みをしっかり知ることがカギだったのです。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

本当に三日坊主は直るのか？

「本当に三日坊主は直るのか？」

こんな質問をよく受けます。
答えはYESです。

では、なぜ直るのか？

それは習慣になるかどうかは
うまく脳のメカニズムを活用すればいいのです。

世の中にいろいろ

「カンタンだからできそうだ」
「ラクラクだから続けられそうだ」

こういうものがあふれていますが、
できそうだと思っても続けるかどうかとは別問題です。

英語と話がそれますが、 ロ○オボーイというのが一時期すごく流行りましたが
これはすごくラクラクにお腹に効きます。

「乗って座ってるだけで腹筋運動ができる」
のキャッチコピーで大ヒットしました。

乗っていればすごくお腹にくるのは確かのです。

実は私の元同僚がこれを購入したのですが、 続けることができないのです。

乗って座ってるだけです。

15分座ってればいいのにできないのです。

結局、置物になってるそうです。

「ウソー！」と思われるかもしれませんが 本当の話です。

Copyright 2011© Zilchmarvelous All Rights Reserved.

カンタンやラクラクなものでも
こういうことになってしまう人が多いのです。

では、どうすればこういう三日坊主を避けれるのか？

それは新しい習慣になれるトレーニングすることです。

いわゆる慣れるということ、巷でもよく耳にすることですが、
これが実はやり方があるのです。

いきなり本格的な結果を出すトレーニングにしないことです。

トレーニングというより軽く慣らすような感じでやってみるといいです。

私の同僚がロ〇オボーイを続けられなかったのは
最初から「座ってれば結果が出るんだ！よ～しやってやる！」
と気合十分に結果を出そうとカんでしまったため
今日明日、1週間で結果を出そうと張り切りすぎたのが原因です。

しかもラクでカンタンなことは続かない理由があるのです。

なぜそうなるのか？
その答えは脳のメカニズムを知ることです。

脳はどんな新しい習慣であれ、急激に取り入れようとすると拒絶します。

脳はあなたの知らないところで
毎日快適な状態でいられるようエネルギー配分を行っています。

普段のエネルギーを１００とすると
新しいことを使うエネルギーがさらに３０必要で
１３０のカを使おうとするならビックリするわけです。

それはまるで車が最初からトップギアで走り出すと
ガタガタゆれてうまく走れないのと同じです。

車は急激に早いスピードを出そうにも出ませんよね。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

人間の脳もガッツリ英語をやれるようになるには
最初から飛ばし過ぎないようにすることです。

はじめはゆっくり丁寧にスタートして
英語に触れることにならしてあげることがポイントです。

車が発車のときゆっくり進むように、英語をゆっくりとはじめるのです。

苦手意識の強い人は1時間は長すぎます。
最高でも30分にしてください。

これを1ヶ月繰り返せば
だんだん続けることが苦にならなくなります。

続けることができるようになってくれば
ラクラクやカンタンなものでは納得しなくなります。

ダイエットですぐやせる必要があるならそれでいいのですが、
英語の場合は別です。

ラクラクやカンタンで飽きてしまうのは退屈になるでしょう。
だから、飽きがこないようにいろいろトレーニング法も必要になります。

ラクなことやすぐにできてしまうことは脳にはつまらないのです。
だから、続かなくなります。

ラクラクやカンタンは避けるべきというのはそういう理由なのです。

Copyright 2011© Zilchmarvelous All Rights Reserved.

最初から英語をスマートにマスターできる？

最初からスマートに障害もなく英語をマスターしたい・・・

こう思って私のところに相談に来る人がいます。

しかし、いきなりスマートに何でも結果が出せれば苦労はしません。

英語は曲がりなりにもちょっと転んだりすりむいたりして
目的地に着くものだと確信しています。

凡人でも英語をマスターすることは可能です。

私が奇跡起こしたのは確かです。

必要な失敗というのは早めにしておいた方がいいのです。

ただ最初からスマートに障害もなくマスターなんて無理です。

なんせ、やったことないことをやるんだから。

私の経験上、曲がりなりにも必要なちょっとした失敗やミスを
繰り返しながらうまくなっていく人がほとんどです。

フラフラしたりしても結局は目的地に着きます。

最初から、スマートに何の問題もなく結果を出すことにこだわっては
方法を選んだり、誰かのせいにしたり、 結局伸びなくなることが多いですね。

最初は少しぐらいかっこ悪くてもいいんです。
本当に結果を出せれば、それがカッコイイんです。

スマートさにこだわって結果を出せない人よりは
ずっとカッコイイです。

だから、最初からうまくいくことばかり期待はしない方が
やってて気持ちも楽です。

Copyright 2011© Zilchmarvelous All Rights Reserved.

「自分には難しいからできません」という言い訳

「自分には難しいからできません」

こんなことを言う人がいっぱいです。

私はやんわりこう言う人の気持ちを汲むことなんて
できない事実を知っているので、はっきり言います。

そんなのただの“脳にさせられているいい訳”です。

脳科学の研究を調べるようになってわかったことがあります。

「自分には難しいからできません」

こういうときは大体９０％以上、
「脳がエネルギーを使わず楽をしたいから、いい訳させている」
というのが当たっているようです。

脳はサボリ魔です。

あなたが新しいことにチャレンジしようとするとき、
いつも邪魔をします。

サボりたいときはあなたに納得できるであろういい訳を
意識に送り込みます。

「難しいからできません」

これは自分に責任がないというういい訳です。

だから、プライドが傷つかないし、 受け入れるのは楽です。
そうやってあなたにこの言い訳を受け入れさせて楽をしようとする。

これが脳の性質です。
怖いですね。

実は、自分で正しく判断した理由だと思っていることが
実は脳の都合で歪められてるなんてしょっちゅうです。

Copyright 2011© Zilchmarvelous All Rights Reserved.

特に英語をやろうとするとき、このいい訳してしまうものです。

本当の理由を知らない人はこれに納得してあきらめます。

こんなのただの脳が楽したい都合で作り出したものだったのです。

しかし、脳はこういうこともしますが、
いったん慣れてしまったことをやめさせないのも得意です。

いい習慣を身につけている人が何の苦労もなく
続けているのを見たことありますか？

例えば、シドニー五輪女子マラソンの高橋選手。

金メダルを取った翌日も朝から走っていたそうです。

みんな 「すげ～ストイックだ！」 と驚いていましたが、
そうではありません。

彼女にとっては
「朝、走らないほうがおかしくなる」
というのが正直なところです。

難しいことのようですが、
いい訳のメカニズムを知ってしまえば対処は楽勝です。

「あ、脳が楽をしようとしてるいい訳だ」

とすぐわかるからです。

楽をしたいがためにあなたを丸め込む脳は
きっちり教育してやる必要があります。

教育すればこの上もなくあなたの味方になります。
いい訳して立ち止まってしまいがちな場合は

脳をきっちりと教育（おしおき？）しましょう。

Copyright 2011© Zilchmarvelous All Rights Reserved.

自分にはそんな勉強なんて無理だと思います・・・

「無理無理！自分にはそんな勉強なんて絶対無理！できなーい！」

と言ってしまうことありませんか？

ところで、なぜそう言ってしまうのか考えてみたことありますか？

「自分では無理だと思ったから・・・」
と言う人がほとんどですが、そうではないことが結構あります。

私は指導している方に脳の話をよくしていますが、
脳のメカニズムを知っておくことは勉強をやる上では重要です。

脳のメカニズムに翻弄されて勉強ができない人が多いからです。

脳を知れば知るほどわかったのは、 意識の上であなたが考えていることも
実は脳がそう仕向けていることがあるということです。

つまり、根拠もないのに「自分には無理だから」と考えてしまうのも
脳のメカニズムが深く関わっていることがよくあります。

ではなぜ、脳はあなたをそういうふうに考えるように仕向けるのか？

それは単純に**「楽をしたいから」**です。

脳は怠け者で今の快適な状態でいられる以上のエネルギーを
使うことを嫌います。

だから、英語をやろうとしてエネルギーが必要だとわかると
「無理だと判断しろ」と意識に指令を送ります。

あなたをあきらめさせようとすることがあります。

無理だと思っていたこともやってみるとすんなりできた・・・
なんてことよくありませんか？

本当にやりたいと考えている英語にそういういい訳を 意識に送り込んできたら、
それは脳が楽しようとあなたをだまそうしているのです。

Copyright 2011© Zilchmarvelous All Rights Reserved.

脳は我々の知らないところで巧みに
私たちの意識さえもコントロールしているのです。

もし今「自分でもできそうな勉強法」にこだわっているのであれば
それも脳に仕向けられてそう判断している可能性があります。

いきなり高度な訓練はもちろん厳しいですが、
最初から無理だと決め付けていた方法にも目を向けてみる

価値はありますよ。

もう一度、ラクラクとか簡単で短期間でできるというではなく、
地味で時間がかかってももちゃんと結果の出るものに目を向けてみませんか？

ラクをしたい脳に思考をコントロールされていては、
ほしいものが手に入りません。

自分が脳を有効に使うか、それとも使われる側になるか？
どっちがいいですか？

脳を使う側になれば、英語をマスターすることも不可能ではありません。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

やってみなければおもしろさはわからない

「英語をマスターしたいけど、文法はつまらないのでやりたくありません。
他に方法はあるはずです。その方法を教えてくれませんか？」

こんな質問をする人はいます。

はっきり言えます。
この質問をした人は英語をマスターすることはありえません。

文法は知っているかどうかではなく、その知識を用いて
文を作れるかどうかです。

知っているかどうかは学校のテスト、受験のレベルです。

文法はつまらないと言う人がいますが、
私は理解できません。

つまらないと言う人ほど、本当は何もやったことがありません。

実行しない言い訳をしているだけです。

英語をマスターすべく文法をやった人は、
「やっていくうちに文法がおもしろくなった」と言います。

「わかるからおもしろい、おもしろいからもっとやれる」

そういう状態になるのです。

文法がおもしろくないと言っているうちは何も知らないのと一緒です。

やってみて結果が出してみるようにしなければ
本当のおもしろさはわからないのです。

そこは絶対に他の「文法はつまらない」と言う人の話を
聞いてはいけないところです。

彼らは英語をマスターできた人ではないので
言うことに聞く意味などありません。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

勉強の苦痛なイメージに振り回される理由とは？

勉強はつらいものだ、だから楽しく遊び感覚で・・・

という人が増えましたが、それは間違いです。

変えるべきは**「勉強にたいしての認識そのもの」**です。

私は今いろんなことを勉強していますが、
楽しくないと思ったことはありません。

むしろやらないと落ち着きません。

ある意味中毒です。

学ぶことは楽しいことです。
学ぶことで実現可能なこともあります。

実現しているから楽しいのです。

辞めようとも思わないし、やめるつもりもありません。

勉強するのは苦痛ではなく、楽しみを増やすという考えを持つ必要があります。
そして苦痛だと考えながらやっている人は挫折します。

小さな一つ一つが結果に結びついて楽しいのです。

本当は英語は楽しいものです。
苦痛と考えるのはその過去の体験を見直してみることをお勧めします。

そして

「過去で勉強を苦痛と思ったのは過去のこと。今は今」

と区切ってください。

過去に苦痛だと思った人はそういうのもだと脳がインプットして
勝手にやめさせているのです。

Copyright 2011© Zilchmarvelous All Rights Reserved.

脳に思考をコントロールされているのです。

過去のことは過去のことです。
それに振り回されて認識を変えないのは損です。

過去の苦痛体験を頭の中で再生して、
自分で自分を苦しくしているのです。

Copyright 2011© Zilchmarvelous All Rights Reserved.

こんな間違った継続の仕方

私が好きなアニメに「はじめの一歩」というのがあります。

ボクシングで主人公「幕ノ内一歩」がいじめられっ子から
ボクシングのチャンピオンになるという話です。

主人公一歩の通うジムの鴨川会長が言った名言があります。

「キサマらを強くするのは、毎日の積み重ねじゃ。

じゃが逆もまた然り！

毎日の積み重ねがキサマらを弱くする！

漫然と日々をすごすなっ

四六時中、ボクサーであるコトを自覚しろ

自分に足りないモノ、必要なモノを常に考えて行動せよ！！」

私は継続の方法を科学的に紹介していますが、
それを間違った解釈をして実行する人もいます。

結果の出ない、自信をなくすことの継続です。

スペルミスをチェックをしない、単語を調べないで
ただ漫然と考えずに書いただけの英語を繰り返し提出する。

指摘された同じミスを５回も６回も繰り返す。
チェックしてくださいと何度言われてもしないまま出す。

私は厳しく指摘します。

長い目で見て結果を出した人がいないからです。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

でも、そういう人は

「やっぱり自分はできないんだ・・・」

「やっぱり向いてなかったんだ・・・」

「自分には英語なんてできないんだ・・・」

と自信をなくし、やる気をなくし、
投げ出すパターンになります。

続けることはただ続けるのではありません。

習慣化することは

『結果の出ることを脳に習慣化させることです』

結果の出ないことを続けることではありません。

ここを考えず、ただダメな方法を続けようとする人が
残念ながらいました。

習慣化の狙いは負荷のかかるけど、結果に結び付く練習を
日常の中に当然のごとく行うようにすることです。

やってみて自信をなくすことをしているのも習慣です。

結果の出ないミスを繰り返すのも習慣です。

ただ習慣にすればいいというのは間違いです。

毎日の中で英語をうまくなるためにやるべきことを
面倒だと言ってやってないだけです。

うまくならないと嘆く人に

「この方法でならないと言うなら、
今まで心がけてやってきたことを３０ぐらいは出るはずです。」

Copyright 2011© Zilchmarvelous All Rights Reserved.

「それを全部言ってみてください」

そういうと何も出てきません。

せいぜい１つ，２つぐらいです。

肝心のやるべきことをやってないだけです。

鴨川会長の一言はまさにこれに通じるものです。

結果が出るべくして出る方法を積み重ねているか？

結果の出ない、自信もやる気もなくす方法を積み重ねているか？

この差です。

毎日の結果の出るようなことを積み重ねることで英語は身についていきます。

それを習慣にすることです。
ここを間違っている人がいます。

この点は気を付けてください。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

すぐにやる気を失ってしまう人の共通点

ここ数年でいろんな英語をやりたい人を見てきましたが、
やる気をすぐなくしがちな人に共通点があります。

それは・・・

『障害にビビり過ぎていること』

です。

英語の勉強法にいつも期待するのは
障害が何もないようなものであることです。

何事もそうですが、
学ぶことに壁も困難もゼロなものなんてありません。

英語の達人はみなそういうものを越えてきている人たちです。

すぐにやる気をなくす人は最初の精神的な準備の段階で
壁も障害もあることを受けとめようとしていないのです。

「障害があることがおかしい＝勉強法が間違っている」

というような安易な発想になります。

これでは何をやっても同じことです。

勉強法というのは結果を出すための方法を探す
試行錯誤の時間を短縮したものです。

障害も壁もゼロにするのが勉強法ではありません。

伸びを実感できない時期や、
時間の確保が思うようにいかないことなど、必ずあります。

それに練習したのになかなか思っているほど
英語が使いこなせない経験をすることもあります。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

そういうものは起こるものだと心得ている人と、
そういうものはあってはならないと過剰な期待をする人では
すぐにやる気をなくすのはどちらか明白です。

やる気をなくさない人は
何の努力もいらず、障害も壁もないものなど、
どんなものでもないと最初から意識に刻んでいるかどうかです。

未来の自分の実力をイメージするのはいいですが、
それが都合のいいような過程で達成するというイメージを
持つとやる気に関わります。

すぐに障害が出てくれば投げ出したくなります。

実力をさらに伸ばす試練だと思ってやることです。

期待し過ぎて落胆する感情に身をまかさないように、
最初からそういうことはあると腹をくくっておくだけで
やる気をすぐになくすなんてことは予防できます。

最初から腹をくくっておけば、
実際に起きても

「あーきたか」

と驚きも感情に振り回されることもありません。

雨が降るとわかって傘をさすのと同じ事です。

英語にも雨は降ります。

だから、傘を準備してください。
それだけでズブ濡れはしませんよね？

英語にもこういう**『傘の準備』**をしておいてください。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

英語の勉強が楽しくなるコツ

「英語の勉強は楽しくやりたいのですが、どうしたらいいですか？」

こういう相談をよく受けます。

私はこの質問にはこういうふうに質問を切り返しします。

「楽しくやるというのは何が楽しいと思えるのですか？」

こう聞くと返答できない人や、
チグハグに何かとりあえず思い込みで言ってみる人が多いです。

楽しくやりたいと思ってはいるものの、
何が楽しいと思えるか自分でわかっていない。

こんな状態なのです。

**楽しいかどうかというのは、自分が考えているのではなく、
脳が決めることです。**

脳が楽しい＝快感と思うことが楽しいの正体です。

それは自分で考えていることや、
自分がこれが楽しいだろうと思っていることとは違う場合があります。

楽しい勉強法なんてものは脳にとっては退屈極まりないものであることも
少なくありません。

特に、ストレスなくつらくない勉強法なんてものは
ハマるどころか、すぐに飽きて投げ出します。

強い常習性のあるものにストレスのないものはありません。

パチンコなど、ギャンブルやテレビゲームもストレスをうまく活用して
ハマる仕組みを作っています。

ストレスのあとの達成感が脳には最高におもしろいのです。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

今、私は英語マスターブートキャンプというのやっていますが、
キツイメニューをやってもらってます。

しかし、ちゃんとやってくる人ばかりです。

なぜか？

それはキツイことをしたあとに味わえる達成感を快感と覚えたので、
繰り返すわけです。

私はバイオハザード５（ＰＳ３）というゲームをやりこんだことがあります。

メチャメチャ怖いです。

怖ええ！（恐怖のストレス）→乗り切ろうとする→ステージクリア→達成感（気持ちいい！）→またやる

こういうメカニズムなんです。

あんなの怖くてできないよ！って人もいるでしょう。
私もそうでした。

でも、私もやってます。

これも脳の仕組みです。
世界中の人がハマっています。

勉強も実はこれと同じです。

方法そのものが楽しいことより、小さなゴールを決めて、
それを達成していくことが楽しいと脳は思ってくれます。
（実際に快感になります）

大きな英語マスターという目標も小さな達成感を感じるようにしていれば、
いずれできるというわけです。

最初から大きな達成を期待するから、楽しくないし、変につらくなるのです。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

ただキツさがあると、快感も倍増します。

パチンコはこれをうまく使っているから、儲かってるわけです。

これと同じことを勉強にも応用してみると
続かないなんてことがなくなります。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

今まで英語の勉強を結果が出るまで続けられない人には原因があります。

今まで私は６年ほど英語勉強法の指導をしていますが、
同じこと同じノウハウを教えても挫折する、すぐに投げ出す人は

『挫折することを自分が選択した』

『投げ出すことを自分が選択した』

この意識がありません。

自分で自分を挫折させている。
このことに目を向けません。

私はある人に教えると

『佐藤さんのノウハウはスゴ過ぎて、メチャメチャ効果がありました。』

というのに対し、挫折をした人は

『佐藤のノウハウはオレ（アタシ）には合わないから（自分の理想と違うから）』

他の分野でも同じです。

私はスポーツジムに通っていますが、
一時期ブクブク太りましたが、結果を出して
元の体を取り戻し、さらには絞って動ける体にしました。

同じジムで同じ時間にいるのに、全然結果を出していない人もいます。

結果を出していない人は必ずこう言います。

「このジムでやってることは合わない」
「このジムでやっていることは意味がない」

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

本人の合う合わないだけで片付けてしまっているから、
本当のことが見えません。

結果の出る方法を実行できなくしてまっているのは自分。
合わせようとしないから合わないだけ。

こういう人がゴマンといます。

本当のことを言ってしまえば、
同じことを教えても、それを受け取る側がダメなら何を教えてもダメです。

英語にしろ他のことにしろ、
自分の価値観とか性格、感情とは無縁のものがあります。

それを無視して自分中心で利己的な都合だけを方法に求めて
考えるから失敗します。

あとは方法そのものや自分以外のことのせいにする。

何も達成できるまでやりとおしたことない人に特徴的です。

どんなことでも教えても意味がありません。

自分の感情に都合がよくないとノウハウを使わない。
これで終わりです。

このことを指導している立場の側として言うのはリスクです。

しかし、私がいくら教えたところで、
受け取る側に受け取る準備がなければ無駄に終わります。

それはどんなに優れているノウハウでも同じです。

結果を出していないタイプの人は

『自分の都合のいい情報だけを集めようとする』

この傾向を否定できないからです。

Copyright 2011© Zilchmarvelous All Rights Reserved.

英語習得そのものは誰の都合も考えることはできないのです。

英語を使っているのは人ですが、
英語習得のメカニズムは人ではないので、誰の都合も聞けないのです。

自分の感情に都合がいいだけの情報を仕入れるのは
時間もお金もムダです。

必要なのはそういうデッチあげ情報ではなく、
ちゃんとした**『使える知識』**です。

使える知識と情報は違います。

自分の耳に都合のいい情報ばかりを求めているから
何も変わらないのです。

情報ではなく、使える知識に自分の都合を押しつけないで見ること。

これが結果を出す行動につながります。

「聞き流し」
「勉強はするな」
「英語はネイティヴのように耳から」
「読み書きは話せない原因」

他にもデッチ上げた情報がウヨウヨしてます。

英語は誰の都合も感情にも媚びません。

むしろ不都合な実態をしています。

情報はデッチあげすることができても、
真実は変えられない。

ゆえに、結果の出る方法も誰の感情や都合にも左右されないものになります。

「楽しくやりたい」と結果を出す前からいろいろ求めすぎるのも
挫折を繰り返す人には多いです。

Copyright 2011© Zilchmarvelous All Rights Reserved.

そんなものを英語が受け入れてくれることはありません。

それを受け入れる気がないなら、
英語はもう一生やらない方がいいと思います。

その人の時間とお金のためです。
他のことに使った方がいいです。

腹をくくって英語と向き合う気がないなら、
やめた方がいいですね。

時間もかかります。

３ヶ月とか６カ月だけですべてできるほど
そんな甘いものではありません。

中途半端な楽をしてどうのこうの言うなら、
挫折をまた選択します。

挫折の選択を繰り返す人は覚悟が足りません。

腹をくくり直してください。

何があっても決めたことをやる以外の思考には付き合わない。

そのぐらいの気概がなくては
結果を出すという最高の喜びは味わえません。

喜びの大きさはどれだけのエネルギーを使ったかによります。

あなたは英語と真剣に向き合うつもりがありますか？
自分の感情や理想と無縁な不都合な英語の真実を受け入れますか？

もしその気がないなら、このレポートを最後に
英語は今後やろうとは思わない方がいいです。

お金も時間も無駄にしてしまいますから。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

英語で挫折する人の共通した考え方

英語で挫折する人の考え方の共通点で
よくわかってきたことを紹介します。

英語で挫折を繰り返す人、
あるいは英語に限らず少しも何も続かない人に共通するのは

『できるできないの境界線が極端である』

ということです。

何かをやってみて、すぐにできたという達成が得られなければ、
すぐにできないと決めつけてしまいます。

もう少しやればできるとか、ここを改善すればもっとよくなるとか、
向上、改善というものを全くない、極論思考です。

判断は〇か×か、白か黒しかないわけです。
△も□もないし、グレーも黄色も赤も青もないわけです。

２つに一つしかない極めて、短絡的な思考です。。

私は文法の重要性をいつも紹介していますが、
それでやり始める人もいます。

でも、すぐに投げ出し挫折する人は

「言われたとおりやったけど、できなかった。自分にはできない。」

とすぐにやめるわけです。

最初からできて当然でできないことがおかしいというような
おかしな極端思考なわけです。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

いきなり最初から全部できれば、
何もする必要ってないではないでしょうか？

練習はおろか、日本国民全員が英語マスターなはずです。
（そうではないのは、この思考が効果がないってことです）

最初からできなければならないと思い込んで、
できないことがあれば投げ出す。

できないこと＝壁にぶつかると

「自分には向いていない」

「自分には合っていなかったんだ」

「この方法は効果的かどうかは疑問です」

自分の極端な短絡思考は棚に上げて、
他のことのせいにします。

人それぞれの考え方とか価値観があるとか、
そういうお決まりの逃げ口上する人もこういう人に多いです。

英語には誰の価値観も考え方も考慮しない。
都合も何も誰にも合わせることはない。

意思のないものだからです。

もし挫折を繰り返していて、結果が出ていないのなら、

「問題は外ではなく、自分自身の思考にある」

ということに目を向けなければ、
何も解決しません。

本当の問題はいつもの思考で考えたものではなく、
思考そのものであるという問題を探す以前の問題です。

Copyright 2011© Zilchmarvelous All Rights Reserved.

そういう思考のままではノウハウをいくら学ぼうと思っても、

「できるできない」

の二極論だけでしか判断しなくなります。

問題の根源は英語の勉強法そのものではなく、
自分の思考にあると気付くか気付かないか。

これが結果を出すかどうかの分かれ目にもなります。

できるかできないかだけの極端な思考も
一つのグズ病でもあります。

思考におけるグズ病と言ってもいいでしょう。

結果がすぐに出るか出ないか。

じっくりやれば結果が出る、少し改善すれば結果が出るという
選択肢はないのと同じですね。

ちゃんとした考え方で物事をちゃんととらえようとしない
怠け者のように自己都合で単純化したものであると
言われても仕方ないことです。

自己啓発でもビジネスでもメンタルセットという言葉があります。

これはちゃんとした考え方の基準を設けて、

「ズレたことを考えたり、したりしないようにしましょう」

ということでもあります。

自分の考え方を普段から意識的に見ていますか？

結果というものが手に入らなければ、
まずそこから疑ってみることをお勧めします。

Copyright 2011© Zilchmarvelous All Rights Reserved.

年齢のせいにする人は挫折する

どこいっても、英語ができるようにならないのは
年齢のせいにする人がいます。

いつもこんなメールがきます。

「私は年寄りですが、こんな私でも英語は大丈夫なんでしょうか？」
「年齢が若くないので、難しいと思います」

「あのなー（怒）」と内心ムカつきました。

脳の研究でわかってきたことですが、
７０歳と１７歳には学習能力に差はほとんどなかったということです。

何かを学ぶのに遅いということはないことになります。

年齢を重ねた経験が邪魔をすることはあっても、
学習能力には差はない。

これが科学の答えです。

年齢が若くないとか言って、年齢のせいにするのは**ただの逃げ**です。

もしできなかったときに、

「若くないから仕方ないよね♪」

って逃げ道を作ることができるからです。

根拠のない感情論で逃げ道を作っているだけです。

やりたいと思ったことに逃げ道を作ってどうすんだと、
いつもカチンとくる人が結構います。

年齢のせいにしてどうのこうの言う人は
別に５０代６０代の人だけではありません。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

２０代も３０代もいます。

年齢はできない理由にはならない。
これが事実です。

で、もうひとつ。

年齢のせいにする人に多いのが、
記憶力の問題にしてしまう人です。

語学は記憶力オンリーでできません。

記憶力だけで何とかなるなら、
なんで小学生中学生がほとんど英語ができないのか？

この現象に説明がつきません。

使えるように練習するから、
結果として記憶にも残るというのが本当のところです。

記憶力だのみで暗記したから、
できるようになるわけではありません。

それなら、受験英語の成績がよかった人が
みんなできないのはおかしいことになりませんか？

私は高校生の頃は英語は偏差値７０を超えるレベルでしたが、
ちーっともできませんでした。

話せないし、書けない。

記憶力だのみでやったことは何一つできませんでした。

つまり、記憶力がどうのこうのというのも
おかしな話でしかないということになります。

視点を変えれば、英語を若ければいいというわけでも、
記憶力でもないもっと別なものが必要ということです。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

英語の勉強で、効率を求めると上達しない理由

よく英語の勉強について質問されることで多いのが、

「もっと効率よくやりたいんですけど、いい方法はないですか？」

というものです。

例えば、単語を調べるときに英英辞典を使うことを勧めていますが、
どうしても最初は時間がかかります。

それはそうです。

慣れていないんですから。

慣れてないことは慣れるまで時間がかかります。

慣れてできるようになれば大きく上達が加速します。

必要なことです。

しかし、最近の人はせっかちというか焦りすぎというか、
効率的でやるべき思考錯誤さえも飛ばしたいと思っている人が多いです。

人間の筋トレと同じようなもので、
焦って筋トレしても効果は出ません。

ジワジワと効いてくるようなものが英語には多いです。

効率を求めることが全てのような行動をしたがる人がいますが、
それで楽をしてもちっとも結果が出ません。

単語は調べて、その感覚を英英でつかむ方が
長い目で見たときに上達が早くなります。

Copyright 2011© Zilchmarvelous All Rights Reserved.

英和が楽だからと言って、
それに頼り切る人は日本語訳をあてはめただけの
おかしな英語を連発して書き続けます。

ちゃんと英英を使った人との差は歴然です。

今が手間がかかるからと言って、
効率を求めるべきではないところです。

トンカツにたとえるなら、
衣をつけるのが面倒なので、
そのまま揚げてしまうことをするようなものです。

それではうまいトンカツにはなりませんよね。

それと同じことです。

一見面倒と思うことも習慣にしてしまえば、
その作業は十分こなすことができます。

脳の使い方を意識しておけば、
面倒なことも継続は可能です。

まずいトンカツの英語になるか、
うまいトンカツの英語にするか

どっちがいいですか？

やるなら、少し手間がかかって遠回りに見えることも、
結果として最短距離になります。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

理想の勉強法が投げ出す原因と知る

今の英語学習者の人たちを見ていると、
理想の英語勉強法を求めて、探し回っている人が多いです。

理想の英語勉強法＝自分に合っている＝簡単でこんな自分にもできる＝早く結果が出る

こんな魔法がどこかにあるだろう・・・と思ってしまいます。

そういう期待を捨て切れずにいるために
どこぞの聞き流しや１日〇〇分でＴＯＥＩＣ８〇〇点のような
どうしようもない教材に手を染めてしまいます。

私のマニュアルを読んだ人の中にも
残念ながら、そういうことを繰り返す人が出ました。

**『１つの方法をちゃんとやらない人は
他の方法をやってもダメ』**

私の師匠の教えです。

私は英語を身に付くという結果を考え、
さらに研究と実践を重ねて自分で実行して結果が出たこと、
そして私以外の人でも結果の出たことを方法にしました。

英語がどう身についていくのか、という事実に焦点を当てているので、
あなたの都合や理想に当てはまっているとは思いません。

英語ができるように人は、
他のどんなことをマスターしようと思っても、できてしまいます。。

どんな所でもちゃんと結果を出すためにやるべきことができるからです。

一方、いつまでたっても英語をマスターできないでいる人は

「この方法は自分に向いていない・・・」
「もっと自分に合った英語勉強法があるはずだ・・・」

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

と考えて、何か結果を出すまでやりとおす前に
意識を外に向けてしまいます。

これは現実逃避です。

この世のどこかに魔法のような英語勉強法があって、
どんな障害もなく、スムーズに短期間で劇的に英語がうまくなる、
と思っているのでしょうか。

自分以外の外のどこかに

「自分に英語をマスターさせてくれるもの」
「自分に英語を成功させてくれるもの」

そういうものがあると信じたい非現実的な思考を捨てずにいます。

そんなものはありません。

今、言ったような魔法は、
自分の外側の世界には存在しないからです。

どこにもないし、誰も持っていません。

多くの英語学習者はこの魔法の英語勉強法を求めて、
今、やるべきことから逃げ出そうとします。

しかも魔法の勉強法は決して見つかりません。
最初から存在しませんから。

魔法の勉強法を求めることより、
もっと現実的な魔法があります。

外の世界のどこかにあるのではなく、自分自身です。

外で探しそうとしなくても、
そんなに必死に魔法の勉強法を求めなくてもいいんです。

元々、その魔法は自分が持っています。

Copyright 2011© Zilchmarvelous All Rights Reserved.

あなたが探している英語でこうしたいと思う理想、
それは、あなたがすでに持っているのと変わりないかもしれません。

目の前に方法はあるからです。

それなら、目の前のやるべきことをもっとしっかりやってみれば、
それだけ理想に近づきますよね？

あなたにはすでに理想をかなえる方法があります。

大事なことはあなたが「こういう方法でしたい」ではなく、
「これをすればうまくなる」を実践することです。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

英語の勉強を先延ばしにするクセを克服する

アメリカの自己啓発の権威
ウエイン．W．ダイアー博士はこう言います

「どんなことでも先延ばしにするのは簡単なことだ。
一滴の汗も流さずにできる。」

英語も同じですね。
先延ばしすることなら、誰でも天才になれます。

先延ばしこそ一番簡単で、
一番ストレスとジレンマを抱える原因です。

先延ばしにしようとする考えが浮かんできたら、
即その自問自答をやめることです。

そうすれば、先延ばしを正当化する問いかけに
答えを出す必要がありません。

私はいつもそうしています。

ダイアー博士はこう言います。

「自分の考えていることの責任は自分自身にある」

自分を成功させる態度や行動は、あなたの選んだ考え方です。
自分を成功させないような態度や行動もあなたの選んだ考え方です。

先延ばしに納得する考えに身をゆだねたのも自分のせいです。

普段、自分の考えは無意識で進みます。

この考えること自体、勝手に進んでいきます。

Copyright 2011© Zilchmarvelous All Rights Reserved.

成功する考え方をしていないなら、
行動しない、何もしないのを正当化する理由を探していきます。

「どうせ今はまだ忙しいし」

「今よりもっと時間ができてからやればいいや」

それで見事、ハイ納得。
考え終了。

そして行動しない、何もしないで１日が終わります。

それの繰り返しで、１年、３年、５年と過ぎていきます。
何も変わらないまま、目標は目標のまま。
夢は夢のまま。

「できたらいいのになー」

と同じことを言い続けます。

そんな人を何人、いや何百人見てきたことでしょうか。

「今の自分には行動することなんてできない」

そう考えたら、そこで脳はそれ以外の可能性を排除します。

どんなに動ける余地があったとしても。

大事なことですが、
自分の考え方は選べるということです。

行動できないまま（理由をつけてしないままと言った方が適切）で
自分の今の考え方をたいそう大事にしている人がいますが、
それって意味のあることでしょうか？

その考え方に縛られる選択で得られる結果に満足ですか？
と私は聞きたいです。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

いち早く英語をマスターした人は万全な状態にいたのでしょうか？

ＮＯです。

万全ではありません。

むしろ不満を言いたくもなるような状態です。

・事故のせいで、体に健康問題を抱えている人
・残業もある忙しい業界のＯＬさん
・小さな子供を抱えて、かつフルタイムで働くママ

こういう人たちが成功しているのです。

「先延ばしは失敗よりもタチが悪い。」
「なぜなら、１００％成功できない保証付だから」

万全な状態でやっている人間などまずいません。

先延ばしにしなかっただけ。
だから、スタートも早いし、結果を出すのも早い。

今は万全じゃないから、
仕方ないという考え方に付き合っていませんか？

こういう考えに付き合うと、
何年経っても夢は夢のままです。

しかし、こういう考え方を排除するのは
客観的に注意してやっていけば
誰でもできるようになります。

私は自分にも友人にいつもこう言います。

「自分ができない、行動しない考えに納得なんてするな」

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

多くの人はチャンスが目の前にあっても、
行動する理由を探しません。

むしろ**「自分にはできない理由」を一生懸命に探します。**

これは自分自身にとって何の得にもなりません。

成功は選択と言います。

成功する選択をした人は成功し、
成功しない選択をした人は成功しません。

先延ばしは成功の先延ばしに過ぎないのです。

Copyright 2011© Zilchmarvelous All Rights Reserved.

一流の英語マスターとプロ野球選手の共通点

世の中文句を言うだけ、反論するだけなら
超一流の人っています。

英語に限らず、ダイエットでも他の学ぶことでもそうです。

こういう人たちは行動をしないです。

他人の言うことにはああだこうだと反論するなど、
口を出しますが、自分は何もできない人です。

自分に不都合な事実は全部反論、文句で返します。

こういう人の共通点は楽したいだけ。
口だけいろいろ言ってるのは一番楽ですよね。

私も楽なことは好きです
だからいろいろ手を尽くします。

ですが、私はただ楽したいだけの人とは違います。
単純作業を楽にできるように手を尽くす。

これが私の行動の根本にあります。
調べる時間の短縮、迷って考え込む時間の短縮です。

単純にラク＝さぼりたいの人には
何を教えても役に立ちません。

練習そのものをラクするのではありません。

「やる気があって行動もする」と決めて英語に取り掛かる人には
勉強法ノウハウはとてもよく役に立ちます。

教材も味方をしてくれます。

実際、一流の英語使いがやってることはシンプルです。

Copyright 2011© Zilchmarvelous All Rights Reserved.

「読めるようにする」
「書けるようにする」
「聞けるようにする」
「話せるようにする」

単純にやってることはこれだけです。

これをきっちりこなすから、高いレベルになるわけです。

ＷＢＣで話題をさらったメジャーリーガーイチローもやってることは単純です。

「打つ」「走る」「守る」

この３つを誰よりも高いレベルでやってるだけです。

攻撃するときは１回でも多く塁に出る。
塁を走る。

守るときは１回でも多く、アウトにする。

これを高いレベルでやってます。

普通に見れば何でもないことを当たり前にやる。
色気もなにもないけど、試合に勝つ動きをする。

打席に立てば、バットにあたりそこなって
内野に転がった場合でも、全力疾走で塁に出るだけ。

かっこいいよりも地味。
だからヒット数が多い。

守りのときは、自分の前にきたボールを確実に処理できる位置へ動いて、
アウトにする。

塁に進ませない。

パッと見では、いつも当たり前にボールの前にいるから、
誰もわからない。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

だから気づかないわけです。

派手でもなければ、何でもないように見えることを
誰よりも高いレベルでこなす。

本人曰く、「ファインプレーに見えない確実なプレーこそ最高のプレーだ」

うーん、かっこいいですね。

だから、世界一レベルの高い野球の国アメリカでも
スタメンでいられるわけです。

まさに英語もこれと同じことが言えます。

自称勉強嫌いの人種は言っていることの「論点」が違います。

英語の勉強で言うところの「打つ」「走る」「守る」以外のところで、
ゴチャゴチャ嫌いな理由を言ってるだけです。

勉強そのものに派手さとかかっこよさ
（短期間ですぐに圧倒的に結果が出る）ようなものを
求める必要なんてありません。

自分の理想＝勝手な都合に合わせてくれるものがいいと
思っている人が挫折と失敗を繰り返しているだけです。

むしろそんなものを求めること自体失敗の原因です。

大金はたいて結果が出ない負のスパイラルにハマります。

「読めるようにする」
「書けるようにする」
「聞けるようにする」
「話せるようにする」

成功した人はこれ以外のことに
ゴチャゴチャ余計な理想を求めないし、
これ以外のことはしないからうまくいきます。

Copyright 2011© Zilchmarvelous All Rights Reserved.

誰でもできることです。

しかし、誰もがこれをきっちりやろうとしてるわけではない。

一流の選手も英語をマスターすることも同じです。

「読めるようにする」「書けるようにする」「聞けるようにする」「話せるようにする」をきっちりこなすかどうか。

「読めるようにして書けるようにする。そのあと聞けて話せるようにする」

これをきっちりやったかどうか。

英語があなたの味方になってくれるかどうかはこれだけです。

これをきっちりやってないと、
味方になってくれない＝上達しない。

作業はするけど、成果を出すことは誰でもできるわけではありません。
自己流の自分勝手な解釈でやった人はほとんどきっちりやってないです。

「２ヶ月やってうまくなりません」「やーめた」

で終わりです。

ファインプレーをしろって言ってるわけじゃないから、
地味で目立つこともないし、おもしろそうには見えません。

これが一番結果出しているし、これをやってるかどうかを見れば、
伸びる人伸びない人すぐにわかります。

自分がおもしろいと思えるから、続くわけじゃない。
おもしろいから結果が出るわけじゃない。

よく勉強は「楽しくなきゃ続きません」的な
妄信が流行してます。

結果が出るなら、その方法でやればいいです。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

ただ、実際何も変わってないですね。

そういうものに手を出してうまくなった人がほとんどいませんから。

「勉強は楽しいから成績が上がるんじゃない。成績が上がるから楽しいんだ」

Ｂｙ　古文のマドンナ先生

今結果が出せていないのなら、
一番聞くことは「きっちりやることやってますか？」です。

結果を出すことが一番おもしろいことであって、
結果を出す前からおもしろさを求めすぎるのは
ただのワガママでしかありません。

バットは一級品で打つのは得意です。
走るもの得意です。

でも、守りはエラーだらけです。

こんな人がプロ野球で活躍できますか？

勝負どころでミスして怖くて任せられません。

こんな人が試合で「楽しい」を感じられるか？

それはないでしょう。

試合に出ること（＝結果を出す）さえできずに終わります。

それって楽しいでしょうか？

結果を出せない形だけ楽しいものは
本当に楽しいって言えますか？

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

英語を始めるベストなタイミングは待っても来ない

いつも英語を始める行動できない人には特徴があります。

・周りが自分の状況を変えてくれるのを待っている
・誰かが自分を助けてくれるのを待っている
・いつか状況が良くなる事を待っている

と、まあこんな感じです。

実際は待っていても何もなりません。
待っているだけの人は待っていた時間だけ何も進まないのです。

時間がないとか教えてれる人がいないからと言って始めないのでは
いつまで経っても何も変わらないのです。

人生で何かを成す人は、ただ待っているだけの状態にいません。
ただ待つなんてことは拒否して、自分から動きます。

自分の仕事で勉強時間がなければ
自分の頭を使って体を使って
持っているものを全て使って、
勉強時間を確保する行動に移ります。

仕事の量が減るのを待つのではなく、早く終わるように仕組みを作るのです。

誰もあなたが英語をできるようになることに興味なんてありません。
英語を学ぶのは、自分自身しかいません。

誰もあなたが英語を学べるように手を貸してくるなんて
期待するのはおろかなことです。

みんな自分のことで忙しいです。

これは英語をやりたいと思っている人は誰でも同じです。

「このまま待っていればいつか英語を始められるタイミングがくる」
という考えが一瞬でも浮かんだら、自分にこう言い返しちゃってください。

Copyright 2011© Zilchmarvelous All Rights Reserved.

「いつかなんて日付はカレンダーにない。
　いつかはいつまでたってもきやしない。動くなら今しかない」

と。

タイミングなんて始めたときが一番いいのです。

サーフィンの波もただ待ってくるものではありません。
波に乗ろうとした人にしかきません。

人生の時間は無限じゃありません。
タイミングはやると思ったその今です。

それを逃さず遠回りをしたくないなら
今を大事にしてください。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

英語をマスターできた人がしてきた行動の秘訣

成功している人は行動は早いです。
それはなんとなくわかると思います。

で、もう一つ秘訣があります。

「早く確実に小さく動く」

です。

やる気だけで失敗する人は飛ばしすぎます。

一日３０ページやります！とかやる気満々の宣言をしますが、
まず１ヶ月持ちません。

（それは一度にたくさんやろうとすると脳の反発に遭います）

性格だの、根気がどうだの言う前に、
今できることを早く確実に小さくやることです。

それの繰り返しです。

やる前にウダウダ考えるクセのある人、
そして最初のやる気がいつも続かなくなる人、

ぜひ今日からこれを実行してください。

英語はマラソンみたいなものです。
最初から全力ダッシュをする必要はありません。

『確実にゴールすることが最優先であって、飛ばせばいいというものではありません』

結局英語も小さなことを積み重ねて、
その結果が大きなことに成したことになるだけなのです。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

この基本的なこといつも忘れないようにしましょう。

かといってマイペースでダラダラしていいことにはなりません。

確実に結果の出る量とペースをしっかり保つことです。
たくさん飛ばしてガンガンやることとは違うということです。

ここを間違えないようにしましょう。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

性格と英語の勉強が続く関係はない

「私は性格的に〇〇なので、勉強を長期間続けることは難しいです。」
「こんな性格な私なので、短期間で一気にやりたいと思います。」

なんて、コメントをしてくる人がいます。

挫折街道まっしぐらのダメダメな思い込みをしている悪い例です。
いや、悪いどころではなく、**『最悪』**です。

「私はこれから公道を時速１２０キロで走って事故を起こします」

と言っているようなものです。

性格を理由にして焦って突っ走る人は事故を起こします。

焦ってやったところでちゃんと身につかないので、
どこかで必要のない問題にぶちあたってしまうのです。

普通に走ってれば、何も起こるはずのない問題、つまり、
雑にやったせいで二度手間がかかることがよくあります。

性格を理由にして焦る人は毎度おなじみこのパターンで
いらん問題を自分で抱えて、自分でやる気を無くして自滅します。

オーバースピードで突っ走って、
自分で電柱にぶつかって事故を起こすようなものです。

自分で事故を起こすようなことをやりたがるのか
不思議でしょうがありません。

はっきり言ってしまうと、
性格が英語の勉強を長期間続けれるようになるということはありません。

マメな人でも続かない人は続きません。

Copyright 2011© Zilchmarvelous All Rights Reserved.

そもそも、**「性格」を理由にすること自体おかしい**です。

自称「根気がない」「勉強が苦手」を豪語している人たちはみんなそうです。

続けるために必要な事実を何もわかっていないだけです。

これってサーカスの象と同じです。

サーカスの象は小象のころから鎖につないでおきます。
小象は鎖を切れないので、鎖から逃げることをあきらめます。

そして大人になっても、「鎖につながれる＝逃げられない」と勝手に思い込み、
あきらめてしまうのです。

大人の象が本気で暴れれば、つながれてる鎖など一瞬にして破壊してしまうことが
できるにも関わらず、あきらめるのです。

「〇〇という性格だから」という鎖に自分でつないで、
自分で勝手にその鎖ははずせないと自分勝手に思い込んでいるだけです。

サーカスの象と一緒です。

自分に合った勉強法なんか探す前に、
自分を縛っている鎖の正体を知ることです。

そして、鎖を引きちぎるのではなく、鎖をはずせば自由になります。

人間は自分の性格だと思っていることは
単に思い込みに過ぎないことがよくあります。

自分で自分を負の鎖につないで縛りつけている人が
よく性格を理由にしてあれこれ勉強法を間違うのです。

オーバースピードで事故を起こすのです。

もしあなたが真剣に英語をマスターしたいと思うのなら、
勉強法をうんぬん言う前に、自分の鎖をはずすことを考えてください。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

鎖をはずせなかった人は留学しても、どんな教材を買って何百万使おうが
結果は同じで鎖につながれたまま何もすることができません。

いわば自分で牢屋に入り、自分で閉じ込められているのと同じです。

牢屋に入らず外に出れば自由なのに、自らを牢屋に入れて、
牢屋の中でできることを探そうとしているのです。

それでは効率も効果もあったものじゃない方法になるので
おかしいなことになります。

だからこそ、自分の思い込みの鎖の正体を知っておく必要があるのです。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

「勉強＝悪」にしてしまう理由

「勉強＝悪」

最近の『英会話』教材はそういうものが多いですね。

勉強はつらいもの＝だから勉強ではなく、楽しくやりましょ！

このような風潮の情報が多すぎです。

情報量に比例して、英語がうまくなった人がどれだけ増えましたか？

実は増えていません。

情報はいくらでも世の中のニーズに媚びさせることができます。

しかし、大事なのは『最終的に結果が出るかどうか』です。

この手の「楽しくやりましょう」的ものを買っても
投げ出す人ばかりです。

実はこれはつまらないからです。

脳みそには刺激がないからです。

楽しいことなのにやる気が起きなくなります。

楽しいだけのことは慣れができて、
飽きがきます。

だから投げ出します。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

脳にはつまらないからです。

楽しくて投げ出すはずもないことを投げ出すって
「どんだけやねん！」と思って、かなり自信を失います。

これはそもそも根本を何一つ解決できないものばかりだからです。

実は脳に答えがあります。

脳がやるもやらないも決めているようなものです。

あなたの意思とは無関係に動いています。

それと同じで最初は大変だと思っていた負荷も慣れて
飽きてしまうようになります。

さらに高負荷をかけるようになります。

筋トレマニアなんかそうですよね。

ゲームマニアも難しいことにどんどんチャレンジをします。

ありえないレベルでプレイしています。

それも脳の仕組みが関わっています。

「人ができっこない、大変だ」と思うことを
どうしてできるのでしょうか？

それは脳の使い方です。

ストレスを感じて苦痛を生むのは脳です。

勉強に苦痛を感じる人も同じです。

Copyright 2011© Zilchmarvelous All Rights Reserved.

脳の仕組みでそうしているからです。

そこに気付いて対処すれば、
勉強はそれほど嫌なものではなくなります。

そもそも勉強はちゃんとやれば、
脳は喜んでやらせようとします。

私なんか何か勉強してないと
脳みそが謀反を起こします(笑)

嫌だ苦痛だと思っていることは脳に理由があります。

それを知っているかどうかです。

向きも不向きもありません。

それはただの思い込みです。

人間の脳は高度な学習を支えるようにできています。

それを活用していないだけです。

それを可能にするのも、邪魔をするのも脳の仕組みです。

可能にするように使っているだけです。

脳の使い方が原因であって、方法以前です。

Copyright 2011© Zilchmarvelous All Rights Reserved.

今やっている勉強が不安になったときは

私がずっと英語の勉強法を指導してきた中で

「なんでこんなことやれっていうの？・・・ホントは早く会話をできるようになりたいのに」

なんてボヤキをされることが本当によくあります。

英語をやりたいと言う人のほとんどが
英語が話せるようになりたいというだけで勉強するのです。

話すこと以外のトレーニングをするときは
いつもこんなことをボヤく人が多いです。

文法をやり直したり、リーディングをしていると
全然関係ないことをしているように思ってしまうようです。

会話は文法、リーディング、ライティングの能力を結集したものです。

今、たとえ文法を地味にやっているなら、
それはちゃんと意味のあることです。

１つ１つ階段を上がっているのです。

今やっていることに意味がないこと何一つありません。

１人でやっていると

「このままやってて本当にいいのだろうか？」

という不安や懸念がわいてきます。

それは人間目的にたどり着けないときは、
ただそういう思考をしてしまうだけです。

脳がただそういう思考をさせるメカニズムなのです。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

あなたが考えてやったことではありません。
そういう思考に答えを出す必要はありません。

脳がラクをしたいからそういう思考を呼び起こすのです。

もし、このような不安な思考が頭に浮かんだら、
無視してください。

脳に思考をコントロールさせてはダメです。

今やっていることは必ず次につながっていますよ。

今自分がどこにいるのかしっかりと把握できるように
英語の上達の仕組みを把握しておく必要があるわけです。

そうすれば自分が今どこにいるかがわかります。

Copyright 2011© Zilchmarvelous All Rights Reserved.

結果の出ない時期をどう乗り切るか？

英語の勉強をするのは何のためですか？

もちろん英語を使えるようになるという結果を出すためですよね？
これには何の疑いもないと思います。

しかし、この結果を出したいと思うことが挫折を呼び起こす原因にもなります。

英語にはうまくなっていくのを実感できる時期と
全く何も実感できない時期があります。

うまくなっていく時期は楽しくてしょうがないのですが、
全くうまくなっている実感のない時期が問題です。

うまくなった実感のわかない時期は個人差もありますが、
大体スタートから3ヶ月前後の期間です。

こういう時期があることがわかってないと大変です。

最初の3ヶ月なんてまずできないことだらけです。

それは当たり前です。

最初からできることをやるわけではなく、
できないことをできるようにするのがトレーニングなわけです。

実感できなくても今後上達を実感するための種まきをしているのです。

この最もシンプルな事実を見落として、
うまくなっている実感がわかないとあれこれ考えます。

このあれこれ考えてしまうことが苦痛の1つの原因なわけです。
この苦痛に耐えられないからやめてしまう人がかなりいます。

この考えて苦痛になってしまうのは
脳ミソのメカニズムだったんです。

Copyright 2011© Zilchmarvelous All Rights Reserved.

うまくなっている実感のわかないときに浮かぶ思考にまともに
答えを出そうとするから、苦痛になります。

この思考の対処法を知らないとまず挫折します。
苦痛すぎます。

意思が強いと思われている人でも無理です。

この苦痛をもたらす思考に対処できるのは
意思の強い弱いではないのです。

根性でもありません。
才能でもありません。

その方法を知っているかどうかです。

いくら勉強法を知っても、挫折してしまう脳のメカニズムを知らない人は
結果が出るまで継続することはまず無理です。

特に挫折ばかり繰り返してきた人にはわかると思います。
その思考に付き合わされてきた経験があるでしょうから。

この脳のメカニズムを知っているかどうかが
英語勉強法を活用できるかどうかの分かれ目です。

こういう時期での思考に気をつけてください。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

結果の出ないマイペースにならない

「マイペースで英語をやってみたい」

こう思っている人は多いです。

ただ、マイペースは人それぞれ違います。

私は早く上達したいなら、「マイペース」は進めません。

英語マスターブートキャンプをやってますが、
この講座では『結果の出せるペース』でやってもらいます。

マイペースではできません。

半年で基本を固めてしまうには、
そのやる量とペースがあります。

スポーツで例えるなら、

『試合で勝つために試合に勝つスキルを身につける』

その量とペースです。

マイペースでは試合に間に合いません。

初心者が半年で基礎的な英語をしっかり理解し、
次の高いスキルを身につける土台を作る。

ゼロベースで私のメニューをやって半年かかるわけです。

Copyright 2011© Zilchmarvelous All Rights Reserved.

これをマイペースでやると・・・

数年になります。

期間を短くするなら、それだけ内容も量も濃くなります。

遠くに行くには歩いても、自転車でも、電車、車、飛行機、
いろいろ手段があります。

ただ、300 キロ先を行くのに、歩きや自転車では相当時間がかかります。

全くのゼロベースから英語の基礎を作り上げていくには
毎日やってないと追いつかないメニューにしてます。

理由は単純です。

半年である程度の英語力を手に入れるために、
「最低限やるべきこと」の目安が私にはデータとしてあるからです。

比較的短期間で劇的にうまくなっていった人の「共通点」を調べ上げ、
かつ極力最少の期間で遠回りをせずにスケジュールで組んでいます。

だから、ちゃんと一気にやり切った人は
そこらの英会話スクールでは楽勝でトップレベルになります。

ただし、本人はちゃんとたくさんやったつもりでも、
勘違いしていたり、思いこみがあります。

それが「遠回り」を作っています。

私は遠回りをしそうなところは指摘しています。

ということは、事前に遠回りしそうなところがわかるわけです。

Copyright 2011© Zilchmarvelous All Rights Reserved.

しかし、遠回りを経験するまで絶対に納得しない人がいます。

これは遠回りになると指摘したにも関わらずです。

最短で半年という時間の設定をしていますから、
そういった「遠回り」をすれば、
当然半年では結果が出ません。

継続してちゃんとやっていればいいのですが、
やったりやらなかったりしているわけです。

「マイペースが一番」を言い訳にして
ちゃんとやってないわけです。

電車は時刻が正確ですよね。

あれはどこ止まって、どこに行くまでに何分かかるか
正確に計算しているからです。

松本ー新宿間（225 キロ）の特急と同じ路線で各駅停車にしたら、
時間にどれくらい差が出るでしょうか？

普通に特急に乗れば 2 時間 40 分です。

これを各駅停車で行ったなら？

4 時間 26 分です。

2 時間近く差が出るわけです。

途中できついからと一泊すれば、
もっと時間がかかるわけです。

同じ距離なのに、2 時間 40 分で行けるにも関わらずです。

Copyright 2011© Zilchmarvelous All Rights Reserved.

途中で休憩ばかりしていたら、
到着はそれだけ遅くなりますよね。

それと英語も同じです。

「いつまでにこれを達成するのが目標です」

目標はいっちょ前に言っておきながら、
やることはマイペースで我を通す人がいます。

「そのマイペースでは半年であなたの目標は達成できませんよ」
と指摘します。

マイペースでいることを勘違いしている人がいます。
あるいは我が強いだけの人と言ってしまった方がいいかもしれません。

こういった人に共通するのは

「素直に達成してきた人の道筋を通ること」

ができません。

「自分にはこんなペースでは無理です」と言います。

私にはこのペースでやった人たちのデータがあります。

逆に指摘されたペースでやれないなら、
その目標は夢物語であると気付かなくてはいけないところです。

私は日本生まれの日本人で週 1 回だけの勉強で
正規留学出来た人を見たことがありません。
（もしそういう人がいたら、教えてください。ぜひお会いしたいです）

Copyright 2011© Zilchmarvelous All Rights Reserved.

何の分野でもプロになる人はプロ用のメニューをこなします。

プロで勝てる人は勝てるメニューをこなします。

マイペースを押し通す人は

「この練習でうまくなれたらいいなあ」

と他力本願になっている人が多いです。

うまくなるはずもない練習量とやり方でいくらやっても
うまくならないのは当然です。

同じ半年でも違いが出て当たり前です。

甲子園常連校と同じレベルの練習をしていないのに、
勝てる高校はほとんどありません。

楽しく和気あいあいだけで甲子園に行った高校などありません。

甲子園に行けるレベルになるように練習したからです。

根本の実力差をまぐれで覆すことはできません。

同じ程度なら勝ったり負けたりしますが、
実力差があり過ぎるところはコールドゲームです。

やってるメニューが違うから差が出て当たり前です。

私が半年で基礎力を鍛え上げられるペースと量を
データから組んでいます。

遅れれば、それだけ目標に届くのが遅れます。
やれば届くまでの期間が短くなります。
（実際に半年の半分３カ月で達成した人もいます）

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

全てのステップをきちんと消化できて、
英語が全く書けませんと言う人はいないからです。

それでもマイペースを主張するなら
あえて聞きます。

マイペースは何の基準で決めたものですか？

英語をマスターできた人のやってきたことから出したものですか？

ただこうしたいだけという自分の願望から出したものですか？

それで達成できたなら、なぜこれを読んでいるのでしょうか？

ダイエットでも結果を出せない人は
マイペースを主張し続けます。

結果の出るペースじゃないので、結果が出ません。

それと同じことです。

結果の出るペースで英語をやろうとしてますか？
そしてそのペースでやることから逃れるために
「マイペース」を都合のいい言い訳にしてませんか？

もう一度自分に聞いてみてください。

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

最後に

いかがだったでしょうか？

結局どんな勉強法がどうだと言う前に「英語の本質を知る」と言うことが
実は一番の近道だったのです。

そのことを無視して「ラクラク」「カンタン」などの言葉にだまされていると
本当のことが見えなくなります。

私が繰り返してきた失敗から多くのことを学んでいただいて
時間とお金、そして労力を有意義に使っていただきたいと願っております。

無駄金を使う前にこのレポートの内容を活用していただき、
最短で英語をマスターしてもらうことを祈ってます。

そして最後まで読んでいただいたあなたに無料プレゼントです。

無料小冊子「あの人はなぜいつも成功するのか」

これを無料でプレゼントします。
ご自宅のポストまでお届けします。

→　**無料小冊子「あの人はなぜいつも成功するのか」に申し込む**

これは自己啓発の権威マクスウェル・マルツ博士が成功するためのメンタルを
科学的に検証し、結果の出せる方法として紹介しているものです。

英語に役に立つこともたくさんありますので、
ぜひゲットして読んでみてください。

凡人が最強の英語マスターになるドットコム 代表 佐藤 俊介

Copyright 2011©　Zilchmarvelous All Rights Reserved.

英語マスター請負人佐藤が運営するホームページとブログ

ホームページ http://www.eigo-topgun.net/

ブログ http://ameblo.jp/eigomasterguide/

メール info@bonjinsaikyoueigo.com

無料プレゼント小冊子：http://www.drmaltz.jp/zm/

私は、英語の勉強法をただ教えるのではなく、ちゃんとした結果の出たデータを元に勉強方法をお伝えしています。

言語学・心理学・サイコサイバネティクスなど様々な研究で結果の出たものをお伝えしています。

英語を活用できるようにれば、もっと仕事は楽しくなります。

そして、もっと世界中の人と繋がることができます。

結果の出る英語勉強法を提供して、「あなたを応援」します。

★無料のメールマガジンも発行しています。

メルマガ『凡人が最強の英語マスターになる方法』

登録はコチラからどうぞ

ページの下段にあります。

→**メルマガに登録する**

ご質問は、お気軽にどうぞ！

メール info@bonjinsaikyoueigo.com

Copyright 2011© Zilchmarvelous All Rights Reserved.

英語マスター請負人佐藤が執筆した教材・講座

挫折ばかりで続かない人でも脳がハマってしまう科学的英語勉強法

http://www.bonjinsaikyoueigo.com/

- 勉強法の質問をいつでもすることができる
- 役に立つ本や教材の情報がもらえる
- 勉強法の組み立て方が具体的にわかる
- 意思が弱い、性格が・・・この問題を解消できる継続方法
- 勉強嫌いの根本原因を知り、克服してしまう方法

これら、過去 10 年以上のデータと経験、そして指導してきた方たちから導き出した「英語をマスターできた成功法則」で……、

きっとあなたは、驚くでしょう。

今すぐこちらへアクセス「 http://www.bonjinsaikyoueigo.com/」

初心者限定！できるまで何度も指導する６か月間基礎力養成講座

「英語マスターブートキャンプ」

http://beginners.bonjinsaikyoueigo.com/

- 指導した通りにやって結果が出ないなら、６か月追加で無料指導
- やることが明確だから迷わない
- 毎日勉強できる習慣がつく
- 勉強法のマニュアルがセットになっている
- 社会人でも勉強時間の確保できる特典つき

結果を出すためのメニューを全て組んでありますので、

あとはやるだけです。半年後のレベルアップをしてみてください。

今すぐこちらへアクセス「http://beginners.bonjinsaikyoueigo.com/

Copyright 2011© Zilchmarvelous All Rights Reserved.